# 警察庁

National Police Agency

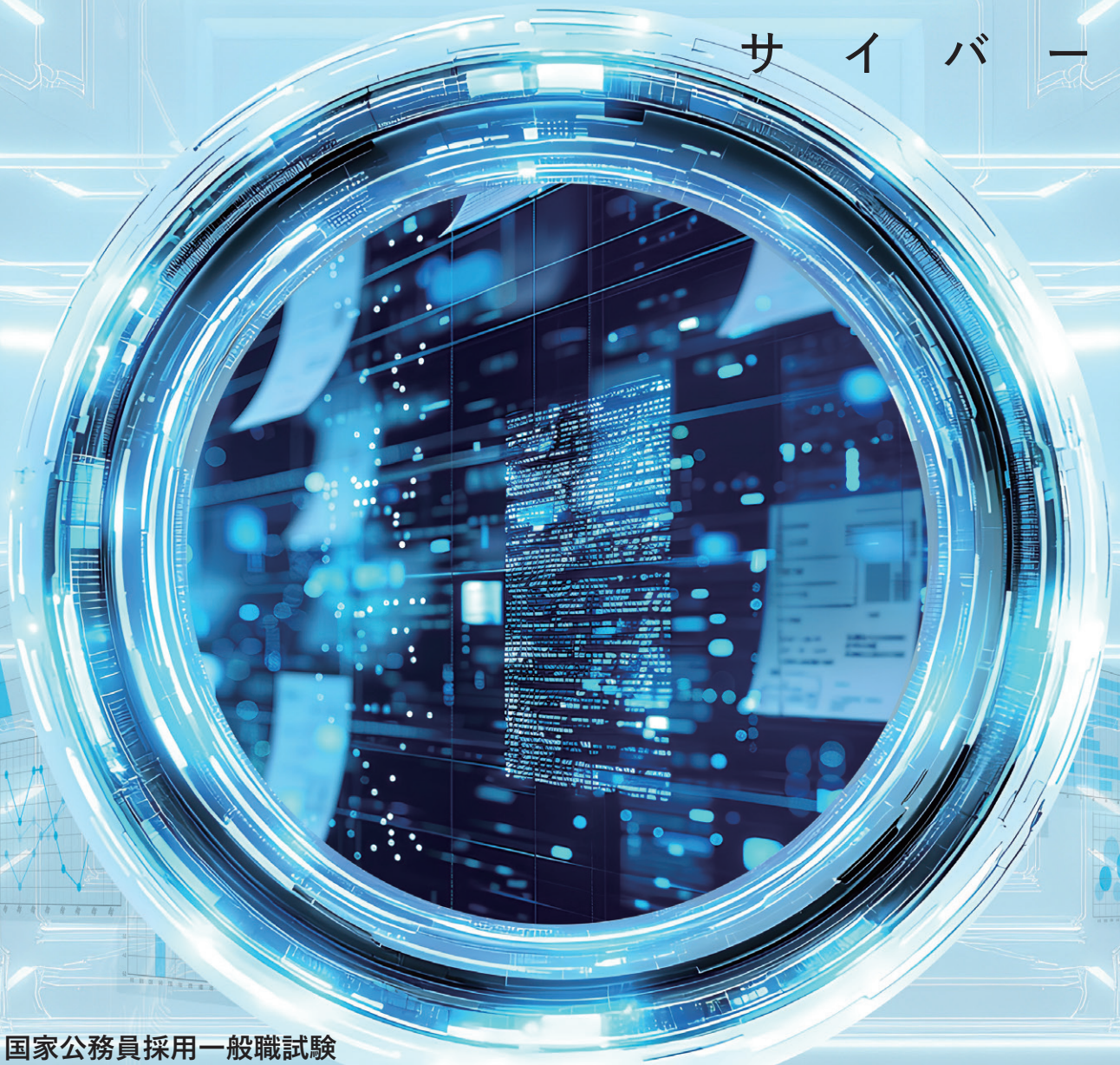
2026

## 一般職技術職員

情報通信

デジタル

サイバー



職員募集案内

**国家公務員採用一般職試験**

大卒程度・技術系全区分、行政、教養区分

高卒者・技術系全区分

**第一級陸上無線技術士　資格保有者**

**情報処理技術者試験　合格者**



警察庁長官官房技術総括審議官

# 飯濱　誠

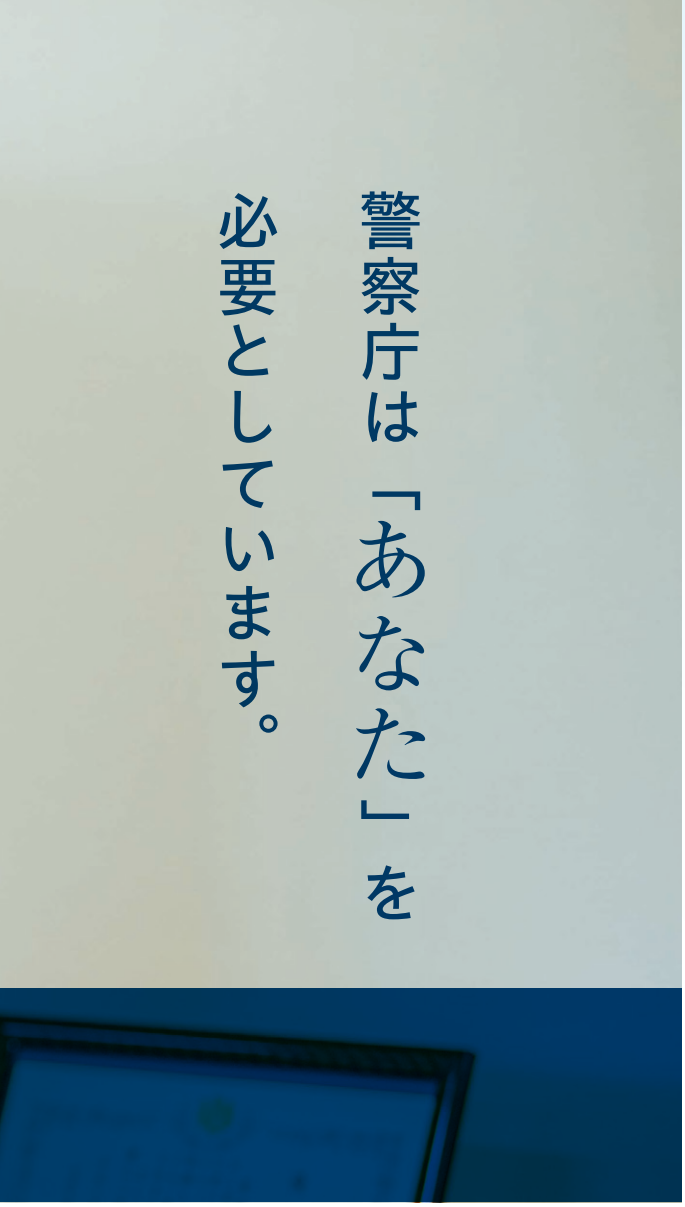
新たな技術を悪用した犯罪手口の巧妙化。
後を絶たないサイバー犯罪・サイバー攻撃。
気象災害の激甚化・頻発化。
こんな時代だからこそ、国民が警察に寄せる期待はこれまで以上に大きくなっ

技術革新や社会経済情勢の変化に伴って新たな治安課題が生じる中、警察が国
その責務を果たし続けるためには、絶えず警察活動を高度化し続けなければな

さらに、少子高齢化の進展を背景とした社会状況の変化を踏まえ、
先端技術の活用等によって業務プロセスを着実に改善し、警察活動の合理化を

技術的な知識・知見を、国民の安全・安心、社会秩序の維持のため、
遺憾なく発揮できるフィールドが警察庁にはあります。

深い洞察力や論理的思考、不正を許さぬ正義感、
そして、豊かな人間性を備えた「あなた」が、警察庁の門をたたくことを期待



警察庁は「あなた」を
必要としています。

ています。

民の期待に応え、
りません。

的確に進める必要があります。

しています。

## Contents


Part 1 警察組織の紹介

- 警察機構図 4-5
- 警察庁技術職員とは 6
- 採用機関と勤務先 7

Part 2 技術職員の業務紹介

地方機関

- 機動通信課 8-9
- 通信施設課 10-11
- 情報技術解析課 12-13

警察庁内部部局

- 長官官房技術部門（デジタル） 14-15
- 長官官房技術部門（先端技術・警察情報通信） 16
- サイバー警察局 17

附属機関

- 警察情報通信研究センター 18
- サイバーセキュリティ対策研究センター

多様な活躍のフィールド 19

Part 3 能力を伸ばす研修制度

- 研修制度 20-21

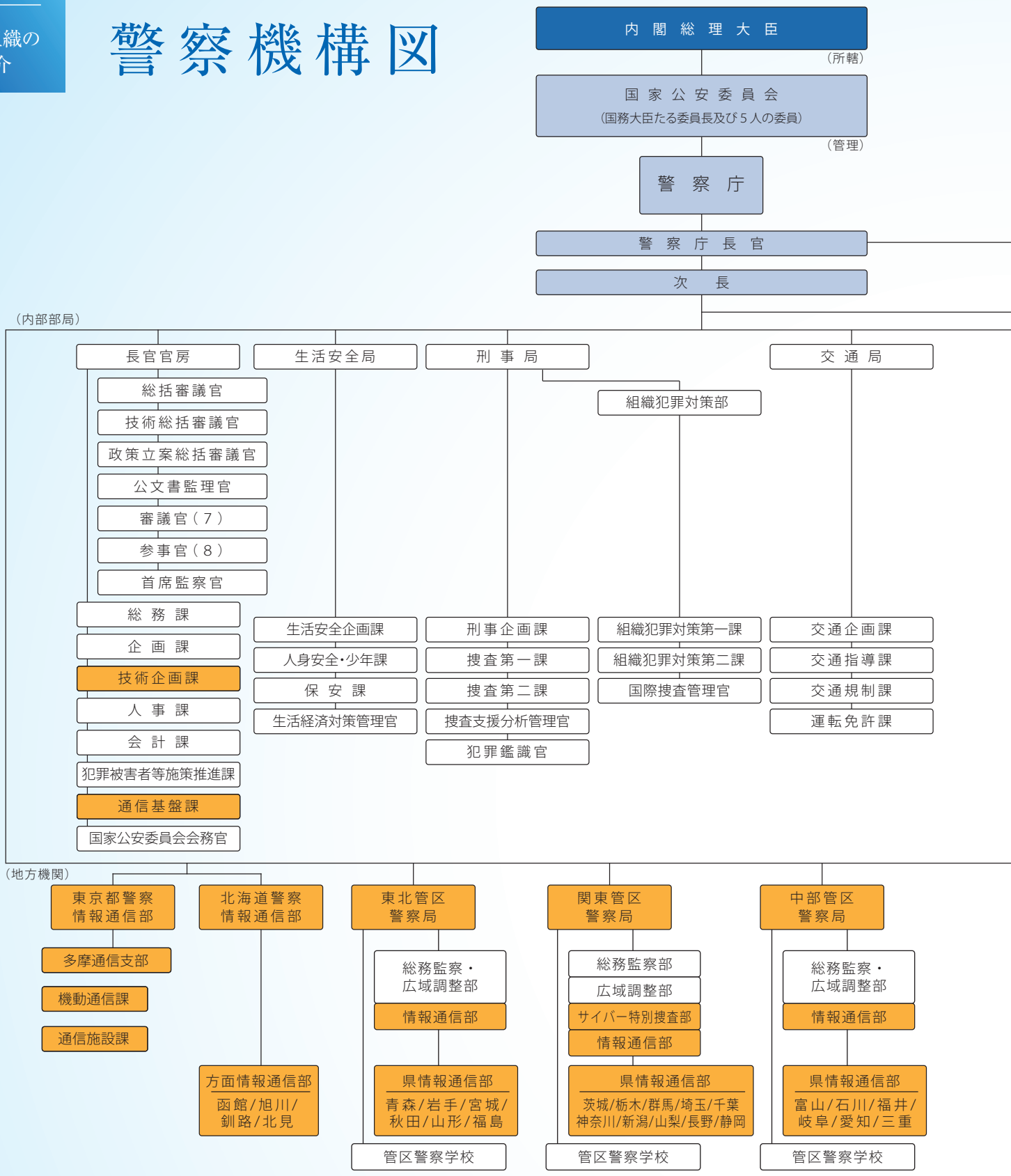
Part 4 多彩な人材の活躍

- キャリアパス 22-25
- 若手 VOICE 26
- 若手職員の1日 27
- ワークライフバランス 28-29

Part 5 採用ガイド

- 採用案内 30-33
- 採用 Q&A 34
- 採用窓口 35

# 警察機構図

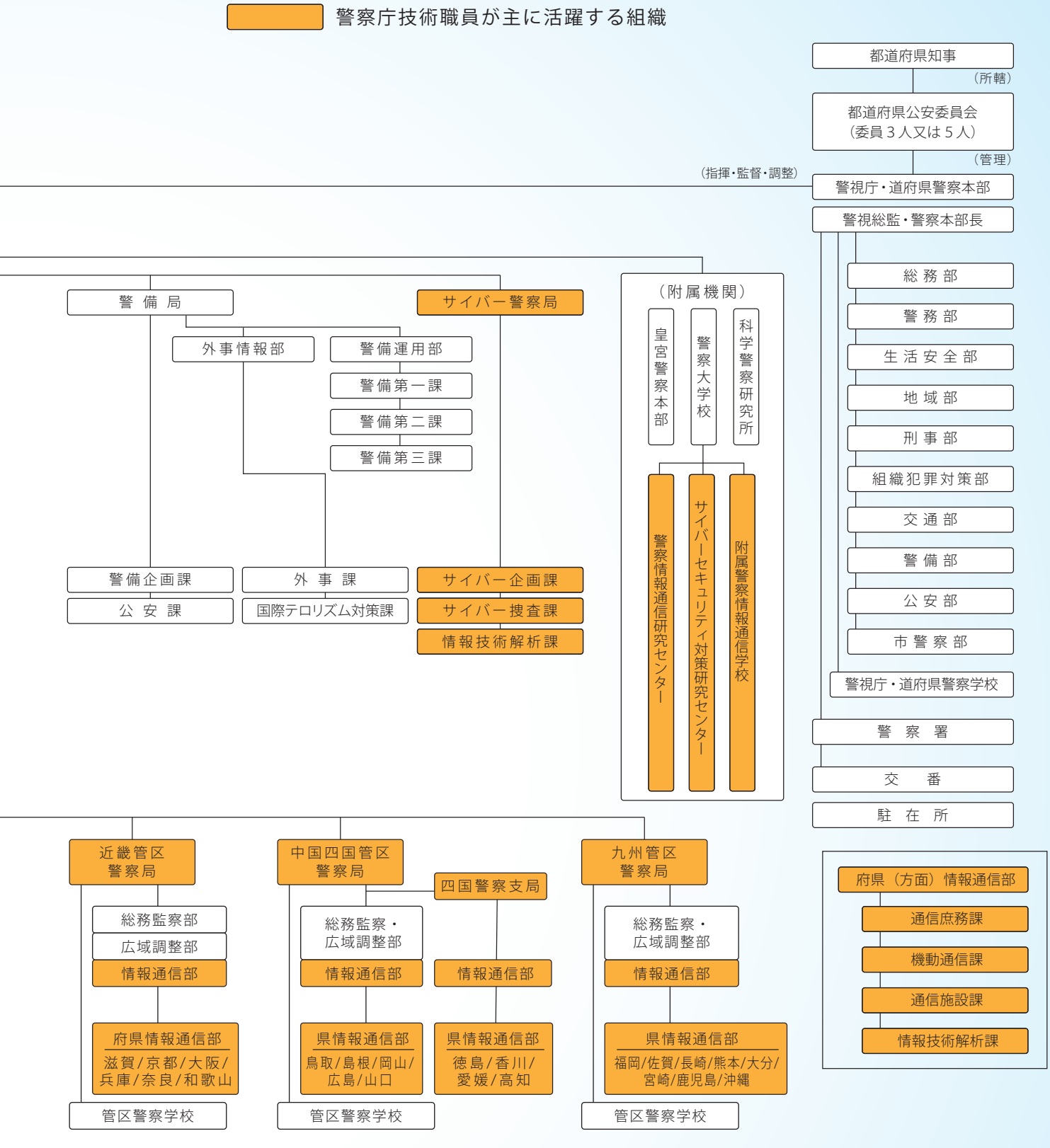



## 警察の沿革

我が国の警察は、明治7年、当時の内務省に警保寮が設置されて以来、第二次世界大戦の終了まで、中央では内務省警保局、地方では知事によって管理運営されてきました。戦後の昭和22年に警察法が制定され、23年から国家地方警察と市町村自治体警察の二本立ての制度となりました。その後、29年に警察法が全面的に改正され、警察運営の単位が現在の都道府県警察に一元化されました。

## 国の警察機関

国の警察機関として、内閣総理大臣の所轄下にある国家公安委員会の管理の下に警察庁が置かれ、全国的な視野から治安維持の責務を担っています。「所轄」、「管理」とは、他省庁におけるような直接的な指揮監督関係との相違を意味する言葉で、その趣旨は、警察の政治的中立性を確保することにあります。また、警察庁は各種国際会議の主催・参加やICPO（国際刑事警察機構）への幹部の派遣等、「治安先進国日本」の警察として、各国警察との協力や、国際的な活動を積極的に行っています。




## 都道府県の警察組織

都道府県には、都道府県知事の所轄下にある都道府県公安委員会の管理の下に都道府県警察が置かれています。都道府県警察には、警察本部、警察署が設置されており、さらに、警察署の下部組織たる交番、駐在所のネットワークが全国に張りめぐらされ、安全で住み良い社会づくりを目指しています。

## 警察庁と都道府県警察の関係

都道府県警察はその管轄区域における一切の第一次的治安責任に任ぜられています。警察庁は、全国警察組織の中枢を占める中央官庁として、国家的・調整的見地から治安責任を担い、その所掌事務について都道府県警察を指揮、監督、調整しています。

# 警察庁技術職員とは

国民一人一人の安全・安心から、国の危機管理まで。技術の力で治安を守る。

科学技術の発展、社会のデジタル化の急速な進展を背景に、厳しい犯罪情勢の中、警察はその使命を果たすため、時代の変化に的確に対応しなければなりません。

こうした時代の変化に対し、第一線の警察活動を技術力で支える、それが警察庁技術職員です。

警察庁技術職員は、都道府県の警察活動の水準や斉一性を確保する必要がある 110 番受理システムや、警察の無線システム等の情報通信システムの構築、犯罪捜査におけるデジタル・フォレンジック（データ解析）やサイバー攻撃などの業務を担う、技術のプロフェッショナルです。



## 警察通信

事件、事故、災害に迅速かつ的確に対応できるように、全国を結ぶ基幹通信網、110 番通報を受理し、警察官に指示を与える通信指令システム、警察官同士の連絡手段である移動通信システム、現場の状況を正確に把握できる映像通信システムで、第一線の警察活動を支えています。



## デジタル部門

都道府県警察の警察活動を支える情報システムの整備、維持管理を担っています。具体的には、犯罪捜査や警察行政事務に必要となる膨大な情報を一元的に管理し、全国で活用できる環境を構築・維持することで、第一線の警察活動や円滑な警察行政を支えています。



## サイバー・情報技術解析

サイバー空間は全国民が参加し、重要な経済活動が営まれる公共空間となっています。培った技術と知識を武器にサイバー空間の脅威に立ち向かい、デジタル社会の安全・安心を守っています。



## 技術政策

警察の業務に生成ＡＩをはじめとする科学技術を導入することで業務の高度化や効率化を推進しています。

警察庁に集約した課題や技術ニーズについて、重要性や意義を分析し、全国警察が一体となってその解決を図っています。

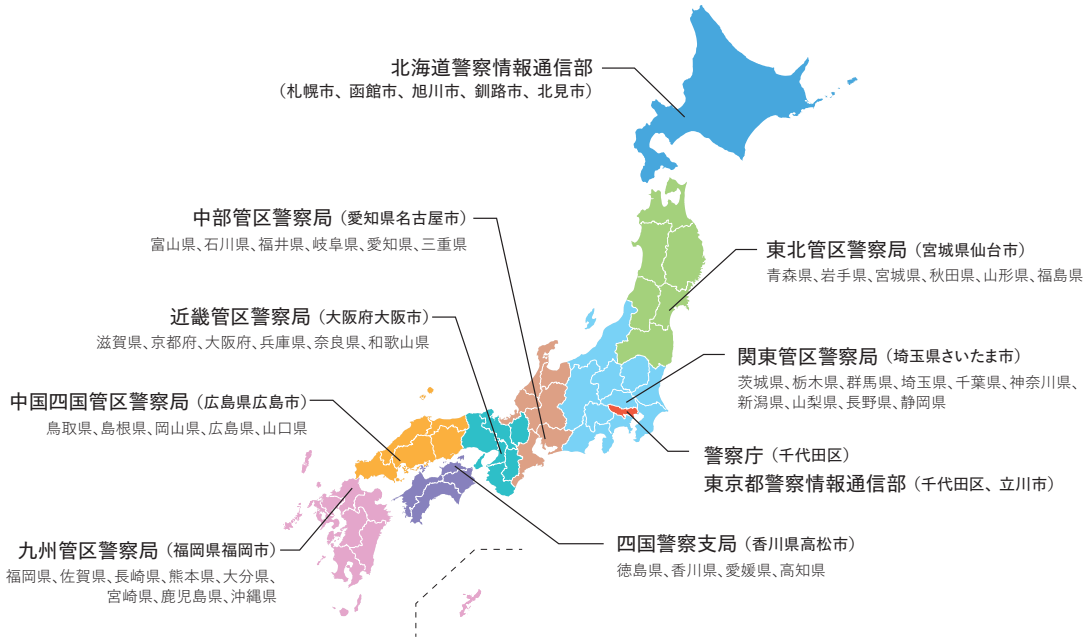
# 採用機関と勤務先

警察庁は、主に東京都に所在する内部部局のほか、附属機関、全国各地域の地方機関で構成されています。地方機関には、エリアごとに置かれた6つの管区警察局と、北海道警察情報通信部、東京都警察情報通信部があります。

警察庁技術職員は、各地方機関または警察庁本庁（内部部局）で採用され、採用された機関内での勤務が基本となります。本人の希望や適正により警察庁本庁や都道府県警察等での勤務の機会もあります。

地方機関には、各都道府県に通信庶務課、機動通信課、通信施設課、情報技術解析課の4課等で構成されている情報通信部が設置されています。

地方機関における勤務地は、各府県庁所在地（北海道は道内主要地域、東京都は千代田区及び立川市）となります。




## 都道府県情報通信部

**通信施設課**
- 警察独自の情報通信システムの構築
- 各種システムの企画設計・導入

**機動通信課**
- 通信機器の運用・維持管理
- 災害等発生時における通信の確保

**情報技術解析課**
- 電子機器・不正プログラム等の解析
- サイバー攻撃の予防・被害拡大防止

**通信庶務課**
- 庶務、経理、資材などの事務業務
- 警察庁事務官が主に配属

### 都道府県情報通信部での勤務

都道府県情報通信部は、都道府県警察と緊密な連携を図り、地域の実情や現場警察官からの技術ニーズを踏まえた活動を行い、技術力で第一線警察活動を支えています。

### 管区警察局での勤務

管区警察局は、警察情報通信ネットワークの中枢的な機能を果たすとともに各府県情報通信部の現場活動を広域的な観点から指導・調整を行い、重大事案発生時には、司令塔機能を担いつつ、技術的な支援を直接行います。

### 警察庁での勤務

警察庁は、全国の警察活動に関する企画・立案、指導・調整、特に高度な技術対応を行っています。

培った技術力と経験を生かし、現場の活動が合理的・効率的に進められるようにリードしています。

# 機動通信課














事件、事故、災害時の警察活動を迅速かつ的確に展開するために、「警察の神経系統」となる強靱な情報伝達手段が不可欠です。

機動通信課では、各種警察活動で用いる無線機等の通信機器や警察通信施設が常に期待どおりの機能・性能を発揮できるように維持管理を行うほか、突発的に発生する災害や機器等の障害に備えて、情報通信対策訓練等を実施しています。

このほか大阪・関西万博のような一大イベントが開催される際には、大規模な警備が円滑に実施できるように、部隊活動で必要な通信の確保を行います。

## 警備実施に伴う情報通信対策

大規模なイベント等に伴う警衛・警護や雑踏警備等の際には、警備活動に万全を期すため、臨時の警察通信施設の設置や現場映像の撮影・伝送が必要になります。警備実施計画等に基づき必要な通信の確保を行います。

## 災害発生時における活動

地震、台風、大雨等の災害が発生した際には、無線中継所へ燃料を搬送するなどして警察通信施設の機能維持に当たるほか、救出救助活動等を行う警察部隊とともに現場に出動し、現場映像の撮影・伝送や通信手段の確保といった活動を行います。

## 事件捜査等における活動

重大事件や大規模な事故が発生し、捜査本部等が設置された場合には、現場の詳細な状況把握や指揮命令が必要となるため、事件等の状況に応じた映像の撮影や伝送、適切な通信手段の確保等の支援を迅速・的確に行います。

## 警察通信施設等の保全

警察通信施設が常に所期の機能・性能を発揮できるよう、平素から点検、調整、監視を行います。さらに機器等の障害発生時においても、警察活動に必要な通信を確保するため、応急的な対応や維持管理を行います。

## 警察活動を支える管内各県情報通信部をサポート

東北管区警察局情報通信部
機動通信課 係長

管区警察局機動通信課の主な業務は、広域的に運用する情報通信システムの運用や維持管理です。日々の点検や障害発生時の応急的な対応を行っています。このほかに管区警察局の機能として、東北６県の情報通信部に対する指導、助言や各種取組の調整や、全国的な取組方針に係る警察庁との調整といった各県情報通信部のサポートも担っています。

私はデータ通信に関する業務を担当し、実践的な研修会を実施するなど、現場の警察活動を支えている各県情報通信部担当者の知識や技術力の向上を図るために日々取り組んでいます。




2016 年　採用
一般職試験（大卒程度）
電気・電子・情報

## 表に出ない縁の下のヒーロー

東京都警察情報通信部
機動通信第二課 係員

現場で活動する警察官が問題なく警察無線を使うことができるように、壊れてしまった無線機の修理を含む保守管理を行っています。警察は 24 時間 365 日常に 110 番通報が入電する忙しい職場です。そんな警察の活動を支える警察無線はひとときでも欠かすことが許されません。無線機の修理を行う係だけでなく、様々な係が適切に連携してシステムを維持する大変さとそれを成し遂げる達成感は、この組織の特徴なのではないでしょうか。

この仕事は、事案対処等に不可欠な技術インフラを当たり前に利用できる環境をつくるというもので表舞台に立つことはありませんが、表に出ない縁の下のヒーローというのもかっこいいんじゃないかな、なんて思っています。



2023 年　採用
一般職試験（大卒程度）
農学

県警出向

## 技術と知識で国民の明日を守る

山口県警刑事部
捜査第一課 出向（警部補）

### 現在の業務内容

山口県警察捜査第一課に警察官として出向しています。身の代金目的誘拐事件や人質立てこもり事件等の被害者救出が求められる事件捜査において、捜査員同士の情報共有や現場情報収集に用いる警察無線や映像機器の運用を担当しています。

### 出向経験を踏まえた警察庁技術職員の魅力

県警察に出向して捜査をする立場になって無線や映像が無ければ、事件現場の状況を把握することが困難なものだと実感しました。捜査の実効を上げるためには、迅速に現場情報を収集し、警察本部、現地本部及び現場捜査員との指揮系統の構築が必須です。情報通信部で培った技術的な知見を生かして、捜査に欠くことのできない通信系統を支える魅力ある業務だと感じてます。



2018 年　採用
無線従事者資格

# 通信施設課








いつどこで発生するか分からない事件、事故、災害に的確に対応するため、警察では全国を網羅するネットワークを構築し、現場警察官の指揮命令や報告連絡に活用されています。

通信施設課では、先端技術を取り入れ、全国に整備された警察独自の通信網と民間の通信網を組み合わせた独自のシステムの開発・整備を行うなど将来を見据えて長期的な視点で警察通信施設を整備しています。

「警察の神経系統」を情報通信技術により実現する通信施設課の責務は、ますます重要なものとなっています。

## 通信システムの構築に向けた整備等の計画

通信システムの構築のための警察通信施設の新設・改修等の計画を立て、その実現に向けた都道府県警察や関係機関等との調整・連携に当たるとともに、整備予算の確保に向けた警察庁等との調整等を行います。

## 警察通信施設に係る工事の計画・監督等

警察通信施設の新設・改修等の工事の実施に向け、現場調査等を行いつつ仕様書や図面を作成し工事の発注を行うほか、受託事業者による工事が適切に実施されるよう、立会等の必要な監督を行います。

## 通信システムの長期安定稼働に向けた維持管理

警察通信施設の機能・性能を良好な状態に維持し、システム全体として長期安定稼働させるため、機動通信課と連携して点検や修繕等の計画を立て、必要な予算を確保するとともに工事等の発注や監督を行います。

## 回線・電波管理

警察業務の遂行に欠かすことのできない各種ネットワークの新増設等のため、データ通信回線の整備に係る電気通信事業者との調整や、自営の無線回線の運用に必要な無線局の新設、変更、廃止及び検査に係る業務を行います。

## 未来へつながる警察通信

北海道警察情報通信部
通信施設課 係員

警察が情報通信を行うために必要不可欠な警察通信施設の維持管理業務を担当しています。警察通信施設が常に良好な機能を発揮できるよう、自ら必要な工事を企画・計画し、工事を委託した民間企業が実施する作業を監督していると、警察の安定した業務を支えているのは自分であることを実感できます。

また現在の業務は、情報通信部が取り扱う機器、施設及び物品等の知識に限らず、様々な関係法令や民間の最新の技術を知ることができ、技術職員としての能力を磨くことができています。国民の生命・身体・財産を守る警察組織の情報通信分野を担えることに他にはないやりがいを感じています。



2023年　採用
一般職試験（大卒程度）
土木

## 警察無線のマネジメント

近畿管区警察局情報通信部
通信施設課 係長

警察の無線通信システムを適切に整備・運用するために、警察が使用する無線局の開設･変更･廃止手続を電波関連法令に基づいて行い、管理するのが仕事です。無線通信システムの更新時等は、数多くの無線局手続きが必要となりますが警察活動の基盤である警察通信を確保するための重要な仕事であり、とてもやりがいがあります。

また、私は２年間取得した育児休業から復職したばかりで育児短時間勤務をしています。しばらく仕事を離れていたこともあり、新しい技術や情勢の変化に対応できるよう日々キャッチアップに努めることが大切だと感じています。



2008年　採用
国家公務員Ⅱ種試験
（電気・電子・情報）

県警出向

## 社会を支える実感が持てる仕事

前・三重県警察本部交通部 交通規制課 係長
現・中部管区警察局愛知県情報通信部 通信施設課施設課 係長

### 出向時の業務内容

私は、昨年度まで三重県警察本部に出向し交通規制課で交通管制に関するシステムの維持管理や機器更新、回線契約等の業務を担当していました。県民の”渋滞を解消してほしい”などの要望に対して、信号制御の設定について信号メーカーと検討を重ねて、信号機の改良を行うこともありました。

### 出向先での業務で一番達成感を感じたこと

交通管制システムの更新工事において技官として培った知識を活用し、回線の集約等によるシステムのスリム化に取り組みました。より良いシステムに更新できたと県警察の方から感謝され、貢献できたことを誇らしく思えました。



2004年　採用
国家公務員Ⅱ種試験
（電気・電子・情報）

# 情報技術解析課







情報通信技術の発展は社会に便益をもたらす反面、匿名性の高いサイバー空間を悪用した犯罪が容易になっています。近年はさらに、国家が関与するサイバー攻撃の拡大など、サイバー攻撃の高度化・巧妙化が進んでおり、その対応には専門的な知識と技術が欠かせません。

情報技術解析課では、捜査で押収されたスマートフォン等の証拠品や犯罪に使用された不正プログラムの解析を行い、警察の捜査活動を技術面から支えています。また、システムのぜい弱性調査等、専門的な知見や高度な技術を生かしたサイバー攻撃対策も行っています。

## デジタル・フォレンジック

様々な犯罪にスマートフォンやウェブサービスが悪用されています。押収した多種多様な電子機器から、事件の真相解明の糸口となる情報を抽出して証拠化するための解析を行い、警察捜査の一翼を担う役割を果たしています。

## サイバー攻撃への対策

サイバー空間の脅威は、深刻な情勢が継続しています。サイバー攻撃の予兆・実態把握を行うとともに、標的となり得る重要インフラ事業者等に対する脅威情報の提供や助言、共同対処訓練を実施するなど、被害防止に取り組んでいます。

## 犯罪捜査における技術的支援

社会のデジタル化が進む中、あらゆる部門の捜査において技術的知見が欠かせなくなっています。都道府県警察に対し、捜索・差押えの現場でコンピュータ等を適切に差し押さえるための技術的な指導を行い、警察全体の捜査能力の向上を図っています。

## 解析能力の強化

警察捜査を支えるためには、最新の技術にも対応できるように解析能力を強化していく必要があります。民間企業、学術機関、外国法執行機関等との連携を通じた技術情報の収集や、新たな解析手法の開発、資機材の整備、高度な技術を持つ職員の体系的な育成を推進しています。

## 技術で事件解決に貢献

九州管区警察局鹿児島県情報通信部
情報技術解析課 主任

事件捜査で押収されたスマートフォン、パソコン等から、犯罪の立証に必要なデータの抽出・可視化を行っています。たとえば、電源もつかないような破損したスマートフォンなど、一見するとデータ抽出は困難と思われるような場面でも、上司に相談しながら、スマートフォンを分解し基板の状態を確認するなどして破損箇所を特定し対処することで、データを抽出しています。

技術的なハードルの高い案件に直面しても諦めずに、破損箇所や失敗の原因を追求し試行錯誤した結果、捜査に有用なデータを抽出できたときは、犯罪捜査に貢献できたと実感でき非常に大きな達成感が得られます。

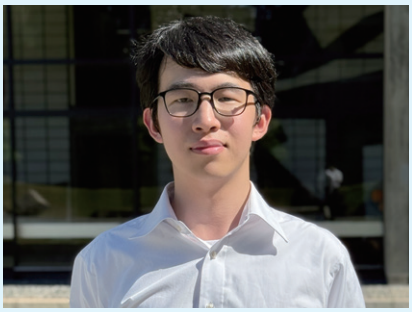



2021年　採用
一般職試験（大卒程度）
化学

## デジタル技術で守る、社会の安全安心

中国四国管区警察局四国警察支局
香川県情報通信部情報技術解析課 係員

県警察が押収したパソコンやスマートフォン等に記録された電子データの抽出·可視化を行っています。持ち込まれるパソコンやスマートフォン等は正常に動作するものだけでなく、破損や水没してしまっているものもあり、それらの機器からの電子データの抽出・可視化も行っています。業務の一つとして、最新の情報通信技術や機器の調査、解析手法の研究も行っています。また、技術的知見を生かし、捜索差押え現場に警察官と同行し、現場での適切なコンピュータ等の差押えのための技術的支援も行ったり、県警察と連携してサイバー犯罪やサイバー攻撃の被害防止に関する助言や訓練の実施といった活動も幅広く行っています。



2024年　採用
一般職試験（高卒者）
技術（電気・情報系）

県警出向

## サイバーの最前線で、地域の未来を守る

新潟県警察本部生活安全部
サイバー犯罪対策課 出向（警部補）

**出向時の業務内容**

サイバー犯罪対策課特捜第一係長として、ランサムウェア事件やインターネットバンキングに係る不正送金事案の捜査や各種解析に携わっています。また、新潟県警察の独自の施策である、サイバーパトロールと企業訪問を組み合わせた防犯対策、戦略的防御措置に取り組んでいます。

**出向先での業務で一番達成感を感じたこと**

ランサムウェア事件捜査では、解析や捜査によって国際オペレーションによる検挙に寄与できたことにやりがいを感じました。インターネットバンキングに係る不正送金事案の捜査においても、事実の特定に資する解析を行い、実効的な効果を得られました。



2017年　採用
一般職試験（大卒程度）
物理

# 長官官房技術部門（デジタル）











警察では、警察情報システムとして、現場の警察活動や迅速な警察行政に必要なシステムや、国際機関との情報共有に必要な環境を整備しており、警察情報システムは迅速な警察活動に必要不可欠なものとなっています。

また、警察庁では、警察庁及び各都道府県警察の従来のシステムを集約･統合しつつ、個々のシステム同士の連携を容易にするなどの構想を実現するため、令和３年４月から警察共通基盤の運用を開始しています。加えて、警察行政手続のデジタル化により国民の利便性向上や負担軽減を図るため、マイナンバーカードと運転免許証の一体化の運用を開始したほか、遺失物関係手続のオンライン化の全国展開に向けた取組を進めています。

## 情報システムの整備に関する企画立案

情報システムの整備・運用を通じて、警察活動をより合理的かつ高度化していくことが重要な使命です。そのため、常に第一線の現場の声や最新の技術情報を収集し、導入による効果やその活用のあり方について、継続的に検討するとともに、警察全体の情報システムの整備に関する取組が戦略的に進められるよう、全体管理を行っています。

## 情報システムの整備

刑事、交通、警備等の業務を担当する部門と連携し、情報システムが最適なものとなるよう、業務の実態の把握、見直しの検討を行います。また、情報システムの整備に当たっては、職員がプログラムを内製する場合もあれば、事業者に設計や開発を委託することもあります。

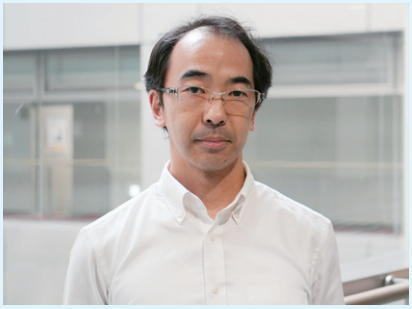
## 情報システムの維持管理

今や、情報システムは全国の警察活動に不可欠な基盤となっており、その安定的な運用が維持できなければその影響は甚大です。そのため、デジタル部門では、情報システムの運用状況の常時確認やセキュリティ対策の実施により、システムの安定的な運用を維持しています。

## デジタル化で警察業務をスマートに

警察庁長官官房技術企画課
専門職

警察庁 PMO（Portfolio Management Office: 府省内全体管理組織）の一員として、警察業務のデジタル化を推進するための業務に従事しています。その中でも、各種施策やシステムの整備・運用に向けた警察庁全体の予算を取りまとめて財務当局に要求する仕事を担当しています。予算要求に当たっては、デジタル庁等とも調整して、政府方針に則って戦略的に対応する必要があります。警察の各業務内容やシステムに関する技術的な知見、財政・会計制度に関する知識も必要とされ容易ではありませんが、デジタル化によって、警察業務を新たにデザインすることに関わることができる、大変やりがいのある仕事です。



2007年　採用
国家公務員II種試験
（物理）

## 全国の“当たり前”を支える挑戦

警察庁長官官房技術企画課
情報処理センター 主任

都道府県警察ごとに個別に整備したシステムの合理化・高度化を目指し、警察共通基盤上に統合するプロジェクトに参画しました。業務主管部門とシステム管理部門との橋渡しの役割を担っており、現場からのニーズを丁寧にヒアリングし、改善点を要件に落とし込む中で、現実的な運用と理想的なシステムの両立に苦心しました。導入後､現場から「作業時間が半減した」と感謝の声をもらったとき、この仕事の社会的価値とやりがいを改めて実感しました。公共性の高い分野で、技術者としての視野を広げられる環境が気に入っています。



2018年　採用
一般職試験（大卒程度）
電気・電子・情報

## システムの安定稼働を支える運用･保守業務

警察庁長官官房技術企画課
情報処理センター 主任

情報システムの運用・保守の業務を担当しており、システムの安定稼働に必要な 24 時間 365 日の監視業務、サーバ等の機器の定期点検対応、システム障害を想定した訓練、ソフトウェアのバージョンアップ作業、障害時の対応などを実施しています。

警察庁のシステムは全国の都道府県警察が使用しており、システムに障害が発生すると場合によっては警察活動に多大な影響を与えてしまうことになるため、現在担当している仕事はとても緊張感があります。その反面、障害発生時に警察庁関係者への連絡、保守ベンダーへの問い合わせ、修理依頼など、復旧に向けた一連の作業を経てシステムが復旧した時は、大きな充実感を得られます。



2015年　採用
一般職試験（大卒程度）
電気・電子・情報

# 長官官房技術部門（先端技術・警察情報通信）

## 先端技術を活かして、未来の警察を作る

警察庁長官官房技術企画課
先端技術導入企画室 主任

先端技術導入企画室では警察における技術政策に係る業務に取り組んでおり、私は、AI 技術をはじめとした技術の導入に係る実証実験の実施に関する業務を担当しています。

昨年度は、警察庁独自の生成 AI を利用できる環境の導入に係る実証実験を実施し、インターネットに接続されていないクローズド環境でも、世の中に普及している生成 AI に劣らない優れた AI を導入するために、同僚や上司と協力しながら業務を進めました。

実験の結果、当初の期待を上回る高性能な生成 AI 利用環境を導入することができ、将来的な本格運用に向け大きな期待が寄せられています。



2019 年　採用
一般職試験（大卒程度）
土木

## 無線・映像で支える警察活動

警察庁長官官房通信基盤課
通信運用室 主任

主に大阪・関西万博警備、国内・外国要人警護における情報通信対策を担当しています。

警察庁は、現場の状況把握や部隊活動の指揮に不可欠な無線・映像の回線を構築するため、各管区・各都道府県情報通信部への指導・助言を行い、大規模警備その他の警察活動を技術的にサポートする役割を担っています。

沖縄県情報通信部で勤務していた頃は、無線・映像等の運用方法について警察庁から助言・指導を受ける立場でしたが、現在は、警察庁の立場で関係法令・規定等に沿って、助言・指導を行っています。

また、災害通信対策係として、自然災害発生時に警察通信施設に被害が生じた場合の対応等に関する助言・指導も行っています。




2018 年　採用
無線従事者資格

## 警察通信システムの維持に係る予算管理業務

警察庁長官官房通信基盤課
主任

警察には、現場警察官の活動を支える警察無線を始めとした、様々な通信システムが整備されており、警察活動同様、24 時間 365 日稼働し続ける必要があります。

しかし、通信システムは機械ですので、日々劣化しますし、突発的に障害が発生することもあります。

私は、これらの障害に対応するための予算を確保し、地方機関に必要な予算を配分するとともに、予算の使用方法を指導するという予算管理の業務を行っております。通信システムは、種類も豊富で全国に整備されているため、限りある予算をいかに効果的に活用できるのか、日々考えています。責任、影響が大きく難しい仕事ですが、地方機関での業務では味わえない面白さを感じています。



2017 年　採用
一般職試験（大卒程度）
機械

# サイバー警察局

## 産学官連携によるサイバー犯罪の防止対策

警察庁サイバー警察局
サイバー企画課
サイバー事案防止対策室 係長

官民連携推進係として、民間企業や関係機関と連携しサイバー犯罪の防止対策に取り組んでいます。産学官の情報や知見を共有し、サイバー空間の脅威を分析することで、安全で安心なサイバー空間の構築に努めています。

また、都道府県警察と連携したサイバー防犯ボランティアの拡大・活性化につながる施策の推進や、国際会議等で海外の関係機関とつながりを持ち、国際化するサイバー犯罪の抑止のための活動を実施しています。サイバー犯罪の被害を防ぐためには、継続的な取組が必要であり、官民連携を通じて安全なサイバー空間を実現するために尽力しています。


大学生による活動の様子

2011年　採用
国家公務員Ⅱ種試験
（機械）

## 日本の国際共同捜査の推進

関東管区警察局
サイバー特別捜査部
特別捜査課 課長補佐

サイバー特別捜査部において、警察官として国際共同捜査を担当しています。サイバー犯罪は国境のない犯罪という特徴があり国外からの攻撃が後を絶ちません。日本警察として国際共同捜査の推進は大きな課題で、未知の領域で前例がないところから業務を進めてきました。どのように捜査を進めるか、各国捜査機関とどのように連携し、どのような役割を果たしていくかなど、現在の業務は挑戦の連続です。国際捜査の中でも日本の解析技術力は定評があり、日本の強みでもあります。警察庁技官として高めてきた技術力と捜査経験を活かし、各国捜査員と共に捜査を進めていく過程はダイナミックで刺激的なものです。



2005年　採用
国家公務員Ⅱ種試験
（物理）

## 仲間と築く世界への架け橋

警察庁サイバー警察局
情報技術解析課
主任

国際協力に関する業務を担当し、海外法執行機関との連絡調整や国際会議の企画・運営、海外からの来訪者の案内対応などを行っています。海外のカウンターパートとのやり取りは英語中心で、日本の状況を正確に伝える力も求められます。相手は私を「日本について何でも知っている人」として接してくるので、技術や情勢を日々勉強しています。この点は、地方機関での業務と同じですが、それを海外法執行機関との関わりの中で活かすことができるのは、警察庁ならではの業務だと思います。海外からの来訪者の対応時には、何をどう案内すれば相手の関心に合うかを他の職員と一緒に考え、実際にご案内もします。来訪者が喜んでくださったり、相手の国の言語で少しでも会話ができたりしたときに、喜びを感じます。



2019年　採用
一般職試験（大卒程度）
電気・電子・情報

# 警察情報通信研究センター

警察大学校に置かれている警察情報通信研究センターでは、最新の情報通信技術から、実用化されている様々な情報通信技術まで幅広く技術を調査し、これらを警察活動に活用するべく研究を行っています。

このようにして得られた研究成果は、犯罪捜査の高度化や先制的予防活動の合理化に活用されています。

## 業務課題に対して、最新の技術からアプローチ!

警察情報通信研究センター
応用第二研究室 主任助手



2018年　採用
一般職試験（大卒程度）
電気・電子・情報

データサイエンスを通して警察業務を支援しています。

具体例を挙げると、地理的犯罪分析を活用した研究では犯罪発生地点データから犯罪予測マップを作成し現場の警察へ提供しています。

データサイエンスという言葉は、人によっては「難しいのでは？」と感じるかもしれませんが、単純統計や地理情報システム（GIS）を使用した分析、AI を活用した分析などそのアプローチは多種多様であり、体系的に技術を学ぶことができます。

業務上の課題に対して、トライアンドエラーを繰り返し適切な手法を探る職場なので、粘り強く物事に取り組める方におすすめです。

# サイバーセキュリティ対策研究センター

サイバーセキュリティ対策研究センターは、サイバー事案に関する警察に関する技術に関する研究や、犯罪の取締りのための情報技術の解析に関する研究を行う機関として、警察大学校に設置され、ネットワーク解析研究室とデバイス解析研究室の二室で構成されています。

ネットワーク解析研究室では、電子情報処理組織その他の情報通信の技術及び電磁的記録に関する研究を、デバイス解析研究室では、情報通信機器及び電子機器に関する研究を行っています。

## 犯罪捜査に有用なデータの解析

サイバーセキュリティ対策研究センター
デバイス解析研究室 主任助手



2021年　採用
一般職試験（大卒程度）
電気・電子・情報

主にスマートフォンの解析手法に関する研究を行っています。

スマートフォンには、犯罪に関する様々な情報が保存されており、それらは捜査において重要な証拠となります。

新しい製品、新しい機能の登場により、これまでの解析手法では対応できないこともあるため、常に最新技術に対応した解析手法について研究することが私の業務です。

研究を通じて新たな知見を得られることや、研究成果を地方機関に提供することで全国警察の犯罪捜査に貢献できることが当センターで働く面白さだと思います。

# 多様な活躍のフィールド

## 内部部局（刑事局）



警察庁
刑事局捜査支援分析管理官
主任

2015年　採用
一般職試験（大卒程度）
土木

**現在の業務内容**

刑事局の捜査支援分析管理官は、犯罪情報を取り扱うシステム等の整備・運用を担当する部署です。

私は、担当するシステムの日常的なメンテナンス実施のほか、都道府県警察から寄せられる問合せに対応しています。

万が一、システムに不具合が発生した場合には、迅速な復旧対応を行うとともに、保守業者と連携して早急な原因究明及び不具合解消に努め、業務への影響を最小限に抑えることを心がけています。

**現在の業務で一番達成感を感じたこと**

柔軟性を高め、最新の技術動向を取り入れやすくすることを目標として、システムの更新を担当しました。

更新にあたっては、初期段階から利用者である都道府県警察とともに「今後のシステムのあるべき姿」を検討・議論をしながら、並行してベンダーとの技術的な調整を行いました。

課題は数多くありましたが、多くの人と協力して一つ一つを乗り越え、無事に運用を開始できた時には大きな達成感を得られました。技術と人をつなぐ役割の大切さを実感する仕事です。

## 内部部局（交通局）



警察庁
交通局交通企画課
自動運転企画室 係長

2009年　採用
国家公務員II種試験
（機械）

**現在の業務内容**

自動運転企画室の係長として、自動運転に関する政府方針に係る意見照会対応、関係機関との検討会などの連絡調整を担っています。

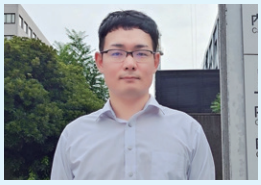
安全で円滑な交通環境を確保するためには、庁内関係各課をはじめ他省庁、民間団体、大学など自動運転に関わる組織と幅広に連携する必要があり、自動運転の実装に当たって想定される課題やその対処方針を整理し、組織的に対応しています。多岐にわたる事柄を幅広い視点で総括する重要な業務であり、既定路線で進む業務は何ひとつありません。

**内部部局での経験を踏まえた技術職員の魅力**

自動運転企画室の業務は、これまでの警察庁技術職員としての経験とは異なり、政策、法律、国会対応など国民生活に直結する業務に携わることになります。

一見、理系の技術職員の業務イメージと異なった印象を受けるかもしれませんが、根拠、経緯を論理立てて考えることが重要となり、理系としての考え方を活かすことができます。

## 他省庁出向



内閣府　科学技術・
イノベーション推進事務局
参事官（重要課題担当）付主査

2014年　採用
一般職試験（大卒程度）
電気・電子・情報

**現在の業務内容**

科学技術・イノベーション推進事務局は、内閣府特命担当大臣（科学技術政策）の下、科学技術・イノベーション政策に関する企画立案や総合調整、重要政策会議の運営など幅広い事務を遂行しています。

私は、重要課題担当の総括業務のほか、経済安全保障業務や、先端技術の実用化に向けた研究開発を支援するプログラム（K Program）運営等を担っています。

**出向して得た経験**

他省庁への出向は２回目となりますが、別の省庁や民間企業からの出向者と仕事を共にする中で、物事の捉え方や価値観が広がりました。

技術職員の業務は多岐にわたりますが、出向で得た知見をいかして今後の業務も多角的な視点で取り組みたいと考えています。

## 民間企業への派遣（官民人事交流）



2007年　採用
国家公務員II種試験
（機械）

**現在の業務内容**

現在、CSIRT(Computer Security Incident Response Team) 部門において、社内で発生した情報セキュリティインシデントへの対応や、発生原因等の分析を通じた再発防止対策に取り組んでいます。セキュリティツールから収集されるアラートの分析により不審なアクセスやマルウェア感染の発生を確認した際には、ネットワーク内の情報を収集、分析し、原因究明や復旧支援を行っています。また、能力向上のためにオンライントレーニングや勉強会にも参加しております。

**民間企業への派遣経験を踏まえた技術職員の魅力**

警察と民間企業で観点の違いはあるものの、一緒に仕事をしたメンバーとは「セキュリティ技術者」として「技術でサイバー空間を守りたい」という相通ずる部分があると感じました。

IT が生活や経済と切り離せない現在、サイバー犯罪・攻撃対策に官民の協力と連携は不可欠です。

技術職員は「警察」と「セキュリティ技術者」の視点を持って、官民の架け橋になれる存在であると思います。

# 研修制度

## 充実した研修プログラムで
## 情報通信技術のプロフェッショナルへの道をサポート

警察庁では充実した研修プログラムを設けています。学生時代等に情報通信技術を専攻していない方であっても、同プログラムを通じて入庁後の業務に必要な知識を身に付けることができます。

入庁１年目は、警察情報通信学校での研修のほか、配属された所属での職場実習を通じて、警察庁技術職員として必要になる技術・知識を身に付けます。

入庁２年目以降にも、警察情報通信学校での専門的な研修や国内外での大学院等で研究を行う留学制度があるほか、民間・他省庁が主催する研修を受ける機会があり、より高度な技術・知識を身につけることができます。

## 入庁１年目（採用時研修）

入庁

**4月～　初任研修**（おおむね1か月）

都道府県警察学校

一般職員初任科に入校し、警察組織に関する基本的な知識や、公務員として働く上で学ぶべき法令等について学びます。

**5月～　職場研修**（おおむね1か月）

配属された情報通信部

業務を行う上で、必要な基礎知識及び技能について研修を受けます。

**6月～8月　通信職員養成科**（技術初任）（おおむね3か月）

警察情報通信学校
（東京都府中市）

情報通信技術の基礎知識及び技能について研修を受けます。

※スケジュールは一例です。状況に応じて学校への入校期間など変更されます。
※デジタル採用、サイバー採用（詳細はP31を参照）では、研修期間・内容が一部異なります。

## 通信職員養成科（技術初任）



警察情報通信学校の通信職員養成科では、全国各地で採用された同期とともに、技術職員として業務をしていく上で必要となる知識や技能について学びます。

授業は１日５時限（１時限は 80 分）で、経験豊富な教官たちが担当します。座学に加えて、業務で実際に使用する機器を用いた実習を多く取り入れていますので、職場実習に向けて安心して学ぶことができます。

学校内には、食堂や大浴場のほか、グラウンドやテニスコートもあり、課外の時間も快適に過ごすことができます。

6:30 起床 / 7:00 朝食 / 8:30 ホームルーム / 9:00 1時限目 / 10:30 2時限目 / 11:50 昼食・休憩 / 12:50 3時限目





9:00 **1時限目：座学**

情報通信技術や各種通信システムの基礎知識等を学びます。



10:30 **2時限目：実習**

各種通信機器に実際に触れることで理解を深め、現場で活用する技術を学びます。



11:50 **昼休み**

食堂で同期と昼食を食べ、午後からの授業に備えます。同期との楽しい会話は良いリフレッシュになります。



2024 年　採用
一般職試験（大卒程度）
化学

**警察庁の研修制度全般について**

採用時研修から専科と呼ばれる配属された係の専門分野に特化した研修まで、自身の技術段階に応じた研修プログラムが用意されており、安心して成長できる環境が整っています。

継続的な学びを通じて、業務に必要な専門性を高めていくことができます。

**通信職員養成科での経験**

大学では主に化学分野を学んでいたため、情報通信に関する知識はほとんどなく採用当初は技術面での不安がありました。

しかし、情報通信技術や警察独自のシステムについて基礎から学ぶとともに、実習で実運用されている機器に触れることで体系的に理解を深め、今では自信を持って業務に取り組んでいます。

通信職員養成科は、全国各地で採用された同期が一斉に入校するので、お互い切磋琢磨しながら絆を育むことができる貴重な機会となりました。

困ったときに頼ることができる同期が全国にいるという状況は、今後仕事をしていく上で非常に頼もしく感じています。

## 9月～3月　職場実習
（年度末頃まで）

### 配属された情報通信部

機動通信課、通信施設課、情報技術解析課の各課各係において実務を行いながら学びます。

## 年度末　通信職員養成科
（技術補習）（おおむね３週間）

### 警察情報通信学校
（東京都府中市）

警察大学校附属警察情報通信学校に再度入校し、１年間の研修の総仕上げを行います。

## 入庁２年目以降




業務において必要となる知識・技術は専門的かつ高度なものになります。

そして日々進歩する情報通信技術に対応するため、採用時研修終了後も様々な研修体系が整備されております。

## Q&A

**Q 集団部屋での生活になりますか？**

A　生活する寮は、全室個室でプライバシーが確保されており、勉強に集中出来る環境が整っています。

**Q 外出はできますか？**

A　課外の時間であれば外出が可能です。

**Q 警察官のように体力は必要ですか？**

A　警察庁技術職員は知識・技術力で警察活動を支えています。体力にあまり自信のない方や、運動が苦手な方でも心配いりません。

**Q 携帯電話を使うことができますか？**

A　課外の時間であれば、携帯電話の利用は制限されません。

14:20 4時限目 → 15:50 5時限目 → 17:15 夕食・入浴・自由時間 → 22:30 点呼 → 23:00 消灯




**4時限目：グループ討議**

討議を通じて職務に求められる技術・システム等の理解を深めます。討議結果を発表し、プレゼンテーション能力を磨きます。




**自由時間・自習時間**

売店で買い物や、食堂で夕食を食べるなど、自由な時間を過ごします。今日は同期との勉強会を開催し、疑問点の解消に努めました。



# キャリアパス

## さまざまな仕事を通じ日々成長

38年目



九州管区警察局　長崎県情報通信部長

**野原　淳**　国家公務員Ⅱ種試験（電気・電子）

長崎県情報通信部では、長崎県警察の活動を技術面から支援するため、県内で発生する様々な事象に職員一丸となって取り組んでいます。現在、私は、長崎県情報通信部の責任者である部長を務めています。これまでに積み重ねてきた経験や教訓をもとに、部下職員と率直に意見を交わしながら、各種業務を推進しています。

また、各職員が士気高く、働きやすい職場環境を構築するための取組を推進することも、重要な役割の一つとなります。

2025 年は、長崎県にとって特別な年です。長崎市では被爆 80 年の節目の年を迎えるほか、ながさきピース文化祭 2025（国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭）が開催されます。これらの行事の開催に向けた通信対策の準備も進めています。

このような時期に長崎県で勤務でき、さらに部長という立場で働けることを光栄に感じながら、安全で安心な長崎県のために、日々努力を重ねています。

### 学生の皆様へのメッセージ

自身に合った就職先を探すことに苦労されていることと思いますが、数多くある仕事の中から一つを選ぶわけですから悩むのは当然です。私たち警察庁技術職員は、国民の安全・安心を確保するため、情報通信インフラの整備、サイバー空間のセキュリティ確保、AI などの先端技術の活用といった、幅広い業務に携わっており、やりがいや成長を実感することができる、挑戦する価値のある職業です。

治安維持を通じて社会に貢献したい、志を持った皆さんをお待ちしています。



## 1988～1989年

■島根県通信部有線通信課　保全係員

### 情報通信職員としての第一歩

初めての勤務地は島根県でした。土地勘がない場所での一人暮らしということで、正直不安もありました。しかし、その時の先輩方に公私ともに優しくサポートしていただいたおかげで、余計な心配をせずに仕事に専念できました。

主な仕事は、警察本部や警察署・交番などに設置されている電話機の保守でした。山中の事件現場に出動し、応急的に通信を確保する活動に従事した際、警察通信の重要性を強く実感しました。

この経験が、私の情報通信職員としての基礎となっています。

## 1994～1995年

■新潟県通信部有線通信課　保全係長

### 整備工事の完遂が自信に

全国に警察版ネットワークを整備するという大きな事業が始まり、私は、新潟県警察本部内のＬＡＮの敷設と各種サーバの設置を担当することになりました。正直なところ、当時の私は「WAN？グループウェアって何？」というレベルでしたので各種研修に参加し必死に勉強しました。

また、困った時には全国の仲間と情報交換を行い、試行錯誤を重ねながら仕様書を作成し、工事を無事に完了させることができました。この経験は、「やればできる」という自信となり、システム整備の面白さを知るきっかけにもなりました。

## 2000～2001年

■警察庁情報通信局情報管理課　企画主査

### 全国規模のシステム整備

掌紋自動識別システムの整備を担当しました。全国規模のシステムであったため、容易に進むわけもなく、仕様書の作成段階からさまざまな問題が発生しました。時には、その対応のために作業が深夜に及ぶこともありました。

自分一人では解決できないこともありましたが、上司や同僚、関係部署の方々の協力を得ながら、一つずつ課題をクリアし、最終的にシステムを完成させることができました。

苦労した分、達成感は非常に大きかったのですが、その喜びに浸る間もなく、次の部署に異動することとなりました。

## 2002～2004年

■警察庁長官官房総務課　情報公開係長

### 情報公開法がスタート、初めて窓口業務を経験

情報公開制度の根幹を担う行政文書を管理する「文書管理システム」の運用を担当しました。あわせて、警察庁に対する開示請求の窓口対応も行いました。これが私にとって、国民と直接接して仕事をする初めての機会となりました。

## 2011～2013年

■沖縄県警察本部交通部交通規制課　交通管制官

### 県警察で条例制定に携わる

交通管制センターでは、交通の安全確保と円滑化を目的として、信号の制御や信号機の新設・改良など、多岐にわたる取り組みを行っています。印象に残っている仕事は、技術とは直接関係ない仕事ですが、信号機バリアフリー条例の制定作業に携わったことです。条例案を策定し、議会に提出し、関係する議員に個別に説明を行い、委員会では交通管制官として答弁する機会もありました。

交通の仕事は、市民の生活に直結しており、とても身近な仕事です。結果に対する反応もあり、やりがいを感じながら仕事に取り組むことができました。

## 2021～2023年

■中国四国管区警察局情報通信部　機動通信課長

### G7広島サミットにおける通信対策

在任中に、広島でのＧ７サミット開催が決まり、管区内では岡山と香川で閣僚会合が開催されることとなりました。期間の猶予もない中、通信対策の準備が慌ただしく始まりました。それぞれの開催地である県情報通信部が主体となって業務を推進しましたが、管区局としても各県を支援するため、連日連夜、各県や警察庁と連絡調整を行いました。その過程で、後の反省や教訓となるような課題も多く発生しましたが、最終的には無事に任務を完遂することができました。

警察通信の底力を再認識できた貴重な経験となりました。





# キャリアパス

## 警察活動を支える デジタル人材を目指して

31年目

群馬県警察本部　警務部
情報管理課長

**伊藤　麻紀**

国家公務員Ⅱ種試験
（電気・電子・情報）



私はこの春から、群馬県警察で情報管理課長として勤務しています。情報管理課は、警察活動に不可欠な情報を迅速かつ確実に届けるために必要な情報システムの整備・運用を担うほか、セキュリティ・インシデントの対処や、職員のセキュリティ意識やＩＴリテラシーの向上を支援する活動をしています。

近年、警察では、進展著しい先端技術を活用して警察活動の高度化を図るため、情報管理業務に関する専門的知識や技能を効果的に活用できるデジタル人材の確保・育成に力を入れています。そのため、今の私の重要な役目のひとつは、部下職員が日常業務の中で互いに学び合い、新しい課題に取り組むことでキャリアアップを目指せる環境を整えていくことだと考えています。私もその輪の中で地道に自己鍛錬に励み、一緒に成長していけたらと思っています。

### 2006～2007年

■警察庁情報通信局情報管理課係長

#### 初めての情報管理業務

警察庁の情報管理課は、全国の警察が利用する情報システムの整備・管理を担っています。取り扱う情報が多岐にわたり運用も多様な情報システムを適確に整備するためには、相応の知識と経験が必要とされますが、初めて就く情報管理業務に右も左もわからない中、必死に勉強し、先輩・同僚の協力を仰ぎながら我武者羅に務めていました。苦い経験も多い時期ですが、ここでの経験がこの後のキャリアや人脈の基盤を作ることとなりました。

### 2018～2019年

■警察庁交通局交通規制課専門官

#### 奥深き交通管制技術との出会い

都道府県警察は、交通の安全と円滑を確保するため交通管制システムを整備し、車両感知器等で収集したデータを基に信号を制御したり交通情報を提供していますが、私は警察庁で新技術を活用した交通管制システムの高度化や、新機能の実用化に向けた調査研究などを行っていました。普段何気なく利用していた信号が、高度な技術を活用して緻密に制御されていることなど、交通管制技術の奥深さを学ぶことができました。

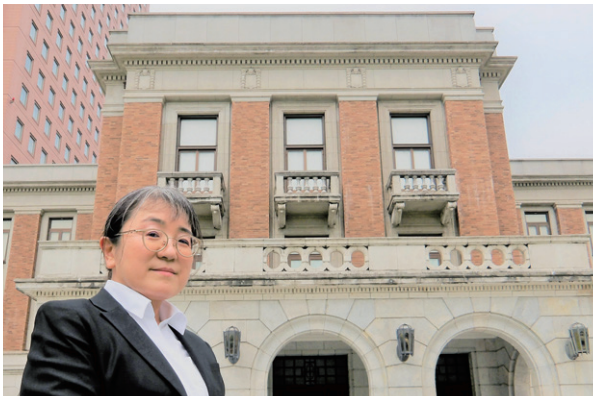
### 2021～2022年



■警察庁長官官房技術企画課課長補佐

#### 新たな挑戦

警察庁や都道府県警察が個別に整備してきた情報システムの合理化・高度化に向けた見直しが進められる中、これまで警察署の窓口で受け付けていた各種手続をインターネット上で行えるようにするシステムを警察庁で整備することになりました。新しい仕組みを検討することには大きな不安もありましたが、部下職員と共に有用な情報を求めて色々なところに足を運び、多くの関係者と調整・検討を重ねる日々に、確かなやり甲斐を感じてもいました。



# これまでの積み重ねを還元できる立場で思うこと

32年目

関東管区警察局　群馬県情報通信部
情報技術解析課長

## 都濃　貫一郎　国家公務員Ⅲ種試験（電気）



2024 年 3 月から群馬県で情報技術解析課長として勤務しています。群馬とはこれまで縁もゆかりもありませんでしたが、勤務を通じて新たな出会いがあり、縁もできたことで人生が少しだけ豊かになったように感じます。

情報技術解析課の業務の魅力は、自分の技術や知識で犯罪捜査に貢献できる点だと思います。職員一人一人が力を付けることで、警察の捜査能力が向上します。課長としての私の仕事は、部下職員がのびのびと楽しみながら実力を伸ばしていく環境を作ることだと思っています。どのような仕事に対してもどこかにやりがいを見つけ、取り組むメリットを担当者に伝えるのが私のスタイルです。周囲を成長させていく仕事は、意外と面白く自分に合っているように思います。

## 1997～1998年

■岡山県通信部通信運用課運用係員

### 半人前が現場活動で一歩前進!

警察署で勤務する警察官と一緒に捜査用の様々な機器の上手い使い方を考えたり、イベントなどの警備の際に通信手段を確保したりといった仕事を通じて、第一線警察活動に関与しました。それまでは機器のメンテナンスなど、一歩引いたところから警察活動を見ていましたが、この時に初めて安全・安心な社会づくりに一歩踏み出せたように思い、良い仕事を選んだなと実感しました。

## 2011～2012年

■鳥取県警察本部生活安全部生活環境課サイバー犯罪対策係長

### 警察官として初心に返る

警察官として自らサイバー捜査を手がける立場となり、技術だけではなく法律も勉強したり、多岐にわたる書類作成とも格闘したりと、これまでのキャリアで最も多忙な時期でした。当時の鳥取県警にはサイバー専門の部署がなく、上司と二人、まさに二人三脚でありとあらゆる仕事をこなし、時には学校や地域で講演をするなど、入庁時には想像もしていなかった経験ができ、これまでとはまた違った充実感を味わいました。

## 2016～2018年

■岡山県警察本部警務部情報管理課情報システム管理室長

### 採用の地で一大プロジェクトに携わる

岡山県警が独自に開発した携帯電話を使ったシステムをスマートフォンに一新する、そんなタイミングでの勤務でした。他県にお手本がないので、本当に大勢の人たちと知恵を絞ってこの一大プロジェクトに当たったことを覚えています。私も過去の経験や人脈を生かして仕事のヒントを探したり、小さなシステムやツールなどのプログラムを作成したりと思っていた以上に活躍の場があり、どんな経験でもいつか役立つ日が来るんだと実感したことが今でも心に残っています。



# 若手 VOICE

設問1 警察庁を選んだ理由を教えてください！
設問2 今後の目標
設問3 警察庁技術職員を考えている後輩へのメッセージ

## みんなで支えよう警察活動



北海道警察情報通信部
機動通信課

一般職試験（高卒者）
技術（土木系）

1 小さい時から警察官に憧れを抱いており、第一線で働く警察官にとって欠かせない無線や通信機器、情報通信ネットワーク等を技術面から支えるという点に魅力を感じました。

2 大規模災害や各種事案が発生した際に、迅速な対応ができるよう日々能力を向上させていきたいです。沢山の知識と技術を習得し、周りから頼られる人を目指しています。

3 業務の幅が広いため、不安な気持ちがあるかもしれません。しかし、採用後の学校教養や職場実習等、充実した環境の中で、一から学ぶことが出来ます。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています！

## 技術でつなぐ警察通信の命綱



山形県情報通信部
機動通信課

一般職試験（大卒程度）
化学

1 警察組織を技術で支える仕事を知り、私も警察通信の命綱といわれる無線等を保守し国民の安全・安心を守りたいと思ったからです。

2 機動警察通信隊活動やシステムの更新など多くの経験をさせていただきました。その経験を生かし、警察官のニーズに応えられる技術職員になりたいです。

3 皆さんが学生時代に学んできた技術を、国民の安全安心を守る警察組織にいかしてみませんか？

## 成長の機会が多くやりがいのある仕事です



東京都警察情報通信部
情報技術解析課

一般職試験（大卒程度）
デジタル・電気・電子

1 警察組織の中で、これまで身につけてきたプログラム開発の技術的知見を活かし、治安の維持に貢献できる技術職員の業務に強い興味を持ち、警察庁を志望しました。

2 日々の業務をこなすだけではなく、常に新しい知見、技術を身につけるための努力を怠らず、情報技術解析課員としての専門性を磨いていきたいと考えています。

3 業務について学ぶ充実した研修が用意されており、安心して業務に臨むことができます。また、若手職員でも主体的に業務に従事でき、成長の機会は多いです。

## 達成感のある仕事です。



山梨県情報通信部
機動通信課

一般職試験（大卒程度）
機械

1 説明会などで働いている職員の方々の話を聞いて、仕事内容に魅力を感じたことが入庁の決め手です。

2 採用2年目でまだ仕事に慣れていない部分があり、先輩に頼ってしまうことがあるので、はやく一人前になりたいです。

3 専門的な知識や技術がなくても、入庁してから学ぶことができます。また、十分な研修期間があるので、仕事をしっかり覚えることができます。頼りになる先輩もたくさんいるので、楽しく働くことができると思います。

## ワークライフバランス最高！



岐阜県情報通信部
情報技術解析課

一般職試験（高卒者）
技術（電気・情報系）

1 高校で学んだ電気・情報系の知識、技術力を生かして国の治安維持に貢献できる点に魅力を感じ、入庁を決めました。

2 国内だけでなく、海外にも旅行に行きたいので、英語が話せるようになりたいと思ってます。

3 警察官を支える立場として、間接的にですが国家や国民の安全・安心のために働くことにやりがいを感じることができると思います。
幅広く業務があるので、自分に合った場所が見つかると思います。

## 警察の名バイプレイヤー



滋賀県情報通信部
機動通信課

一般職試験（大卒程度）
デジタル・電気・電子

1 理系の論理的な考え方を生かして、社会の安全・安心に貢献できる点に魅力を感じました。「専門的なことは、働き始めてから頑張ればいい」と聞き、入庁を決めました。

2 まだまだ上司・先輩に助けられてばかりの毎日ですが、日々の業務を通じて技術力を磨き、将来は私も周りを助けられるようになりたいです。

3 星の数ほどある仕事の中から技術職員に興味を持ったということ自体、あなたの立派な適性だと思います。一緒に働けることになったら、全力でサポートします！

## 国民の安全・安心を守る砦



島根県情報通信部
機動通信課

一般職試験（大卒程度）
農学

1 警察官を技術によって支える立場に魅力を感じました。研修制度が充実していて自分でもできるかもと思い入庁しました。

2 あらゆる障害に対応できるスキルや知識を身につけたいです。
体がたるんでしまったので、ランニングや筋トレで動ける体を作りたいです。

3 警察の情報通信について、学べる制度が整っています。また、わからないことでも、相談しやすい環境が整っています。

## 警察活動の第一線を支える



高知県情報通信部
通信施設課

一般職試験（大卒程度）
土木

1 漠然とした警察への憧れがあり、自分が専攻してきた土木工学の知識を生かせる業務内容があると知り、入庁を決めました。

2 係長への昇任を目指して、日々努力しています。目の前の仕事に集中し、結果を出せるように頑張ります！

3 公務員試験の勉強は大変ですが、努力は裏切りません。一緒に働ける日を楽しみにしています。

## 情報通心



鹿児島県情報通信部
機動通信課

無線従事者資格

1 高校の先輩から業務内容について紹介され、高校時代に取得した資格を生かせると思い目指しました。

2 地元を離れるのは不安ですが、異動希望を出して違う土地での生活を経験してみたいです。

3 採用1年目に東京の学校に数ヶ月間入校するので、知識のない方でもゼロから学ぶことができます。
その入校で全国から同期が集まるので、全国規模で友達をつくることができます。

# 若手職員の1日




**中国四国管区警察局四国警察支局**
**愛媛県情報通信部機動通信課 係員**

2023 年採用　一般職試験（大卒程度）化学

**現在の業務内容**

警察署で使用する警察通信の保守に関する業務を行っています。具体的には、電話機の設置や、ネットワークの保守を行っています。また、警衛警護や大規模災害時には警察官が警察活動を円滑に進められるよう係の仕事を超えて映像伝送等の業務も行っています。

**職場のアピールポイント**

仕事を行う上で、疑問点があれば上司や同僚に気軽に相談でき、業務を行いやすい雰囲気であると感じます。また、休暇も取りやすく自分の時間もしっかりと確保できます。



登庁後、メールの確認や業務内容の確認を行います。

**登庁**



保守している機械等の点検を行います。日頃から行うことで、些細な変化に気づくことができ、大きな障害の発生を未然に防止することにつながります。また、修理の依頼を受けた電話機等の修理も行います。

**午前業務**

午後の業務に向けて、昼食と休息をとります。また、出張の際は、現地のおいしい飲食店を探して食べに行くこともあります。しっかりと食べて午後に向けてエネルギーを補給します。

**昼食**

新システム導入に際して、疑似環境を構築し動作検証を行います。事前に動作を確認しておくことで、修正の必要な箇所があれば事前に修正を行い、システムの導入が円滑に進むよう準備します。

**午後業務1**



実施した作業の報告書の作成や、今後計画している作業の計画書の作成を行います。また、警察官からの技術的な相談や問い合わせの電話に技官としての知見をいかして対応します。

**午後業務2**

一日の業務を終え、退庁します。退庁後は、趣味のスポーツ観戦や映画鑑賞など自分の時間を有意義に使っています。気分もリフレッシュでき、翌日の仕事も頑張ろうと思えます。

**退庁**

**休日の過ごし方・リフレッシュ方法**

ドライブに行ったり、休暇を取得して旅行に行ったりしています。昨年は海外旅行にも行き、非日常の体験をすることができました。また、温泉が好きなので、いろいろな温泉を巡り心身ともにリフレッシュしています。





**近畿管区警察局和歌山県情報通信部**
**情報技術解析課 係員**

2024 年採用　一般職試験（大卒程度）デジタル・電気・電子

**現在の業務内容**

主に県警察からの解析要請を受け、被疑者のスマートフォンやパソコンなどの電子機器の解析を担当しています。その他、県警察から技術に関する相談を受けたり、事業者や学校において情報セキュリティの講義等を行ったりしています。

**今後の目標**

情報技術に関する資格の取得や日々進化する情報技術の知識を学び、より多くの業務に携われるようになりたいです。

登庁後、まずはメールのチェックを行い緊急性の高い案件の有無を確認します。そして、一日の業務について見通しを立て、何を優先して行わなければならないかを決定します。



県警察から、電子機器の解析要請を受理しました。持ち込まれる電子機器等は証拠品であるため、破損したり、取り間違えや紛失することがないように厳重に管理します。
今回も慎重に受付作業を行いました。

昼食は自分でお弁当を作って食べることが多いですが、出張などで忙しい日は売店で買うことも。気分転換したい時は同僚と周辺のお店に食べに行くこともあります。今日は部内や県警察の仲間と女子会ランチを満喫。



午前中に受けた解析要請に基づき、電子機器からのデータ抽出に臨むことに。困難が伴う場合もありますが、無事に抽出できました。技術力で犯罪に立ち向かうべく、様々な資機材を活用して、犯罪捜査を支援しています。

万博会場に移動し、サイバー攻撃の予兆の動きや不審な通信環境がないかなどの観点で実査を行いました。技術で国の安全・安心を守るため、サイバー攻撃の未然防止と被害拡大防止に向けた対策を進めます。



全ての業務に区切りがついたので帰宅します。今日は万博会場から直帰することにしました。家で晩御飯を食べながら、撮りためたドラマや映画を鑑賞し、自分の好きなことに時間を充ててリフレッシュします。

**休日の過ごし方・リフレッシュ方法**

休日は、友人と大好物のイタリア料理を食べに行ったり、美術館巡り、映画鑑賞、ショッピングなどをして過ごしています。最近は絵画を見ることがマイブームになっており、美術館に入り浸り気味です。



# ワークライフバランス



## 警察庁職員が利用できる主な仕事と育児の両立支援制度

### 育児休業

3歳未満の子を養育する場合、配偶者の就業の有無にかかわらず、3歳の誕生日の前日まで休業できます。

### 職務専念義務免除

妊産婦が健康診査や保健指導を受診する、通勤時の混雑が妊娠中の負担になる場合、勤務しないことが認められます。



### 産前・産後休暇

産前６週間、産後８週間の休暇を取ることができます。

### 配偶者出産休暇

配偶者の出産に伴う入退院時・出産時の付添などを行うために休暇を取ることができます。

### 男性職員の育児参加のための休暇

配偶者が出産する場合、その出産にかかる子または小学校就学に達するまでの子を養育する男性職員が休暇を取ることができます。



### 子の看護休暇

小学校3年生までの子を養育する職員が子の看護をする必要がある場合、子供1人につき、年5日の休暇を取ることができます。（10日が上限）



### 早出遅出勤務

1日の勤務時間を保ったまま、勤務の開始時間を変更することができます。

### 育児時間

小学校就学前の子を養育する場合、1日の勤務時間のうち最大2時間まで勤務時間を短縮できます。

### 育児短時間勤務制度

小学校就学前の子を養育する場合、該当する勤務形態により勤務時間を短縮することができます。

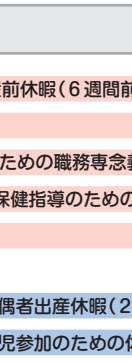
### 休憩時間の短縮

育児や家族の介護のため、休憩時間を短縮することができます。

### テレワーク勤務

1日の勤務時間全体または一部を自宅等で勤務することができます。






**育児に関する両立支援制度のほか、介護に関する休暇やフレックスタイム制などワークライフバランスを支援する制度が多数あります。**

# 制度を活用し活躍している職員を紹介!

## 利用した制度　通勤緩和、育児休業、育児時間、子の看護休暇、早出遅出勤務、休憩時間の短縮



警察庁長官官房技術企画課
情報処理センター 主任

2011年　採用
国家公務員Ⅱ種試験
（電気・電子・情報）

### Q1 出産・育児による働きやすさはどうですか?

妊娠中も病気休暇や通勤緩和の制度を活用することで、無理なく働き続けることができました。育児についても想像以上に慌ただしい毎日で、復職直前は、この先本当に両立していけるのか、不安と葛藤もありましたが、育児時間や休憩時間の短縮、早出遅出勤務と各種制度をフル活用し、忙しいながら働き続けることができています。

### Q2 仕事をする際に心がけていることはありますか?

子どもがいると急な休みや時短勤務など、周囲に助けてもらう場面が少なくありません。だからこそ、日ごろから「こまめな共有」を大切にしています。今どこまで進んでいて、何が残っているか、誰が見ても分かるように意識することで、急な引継ぎもスムーズになります。お互いに支え合えるよう、自分からも動いていく姿勢を忘れずにいたいと思っています。

### Q3 入庁希望者へのメッセージ

仕事と育児の両立は決して簡単ではありませんが、支えてくれる職場の存在がとても心強く、いまも前向きに働き続けられています。私自身も、出産や育児を経験するまでは想像がつかなかったことばかりでした。だからこそ、これから一緒に働くみなさんにも「無理なく続けられる働き方」を見つけてほしいと思います。

ライフステージが変わっても、安心して働き続けられる職場で、一緒に成長していきましょう。



## 利用した制度　育児休業、子の看護休暇、早出遅出勤務



北海道警察情報通信部
通信施設課 係長

2000年　採用
国家公務員Ⅱ種試験
（電気・電子・情報）



### Q1 出産・育児による働きやすさはどうですか?

長男の育児休業中に次男を出産し、約 4 年超育児休業を取得しました。職場復帰早々、次男が数日間入院することになりましたが、子の看護休暇を取得し付き添いをすることができました。

また、フレックスタイム制や早出遅出勤務等、自分のライフスタイルに合わせた働き方が可能です。現在早出勤務を利用していますが、夕飯の支度など、帰宅後でも時間的な余裕ができるので、とても助かっています。

現在は、女性に限らず、わたしの周りの男性職員も多数が勤務時間変更の制度を利用しており、育児に参加したり、趣味の時間に費やしたりしてワークライフバランスを充実させています。

### Q2 職場の雰囲気はどうですか?

静かで働きやすい環境で雰囲気は和やかです。長期に及ぶ育児休業のブランクで復職時は不安がありましたが、上司の理解、同僚や家族のサポートもあり、スムーズに慣れることができました。また、休暇を取得しやすい職場環境作りがされており、周囲の協力もあり、子供を病院に連れて行ったり、平日に行われる子供の参観日等の行事にも参加することができます。そのほかには、仕事を前倒しで実施するなど仕事の進捗を自分で調整することで、長期休暇を取得して家族と旅行を楽しんだりしています。

### Q3 入庁希望者へのメッセージ

「技術職員」と聞くと、特に女性の方は職場環境に不安を感じるかもしれません。でも今は女性が活躍する時代です。この職場は福利厚生が充実しており、出産や育児等の休暇取得率 100%を推進しています。育児制度が整っていることから、私生活や仕事のスタイルにあわせてフレキシブルに対応でき、無理なく仕事と育児の両立が図れます。男女問わず出産・育児に携わることは、一生のうちでとても短い期間で、たいへん貴重な経験です。その時間を大切にしながら、長く安心して仕事をすることができる職場だと思います。



## 利用した制度　育児休業、配偶者出産休暇、男性職員の育児参加のための休暇、子の看護休暇



中国四国管区警察局四国警察支局
香川県情報通信部通信施設課 主任

2019年　採用
無線従事者資格

### Q1 育児休業取得期間

令和6年7月1日～令和7年3月31日

### Q2 育児休業を取得しての感想

想像している以上に体力も気力も必要な育児。育児がこんなに大変だということは育児休業を取得していなければ気付けませんでした。昨日できなかったことが今日になればできるようになる、子供の成長スピードに日々驚かされました。その一瞬一瞬の成長する姿を見逃すことなく、一緒の時間を過ごせたことは本当に幸せでした。

また、子供の成長を見守ることができるだけでなく、妻と協力して育児を行うことで、家族の絆もより深まったと感じています。職場復帰後は、久しぶりの業務に少し戸惑った部分もありましたが、上司や同僚のサポートのおかげでスムーズに復職することができ、熱意を持って仕事に取り組むことができています。

### Q3 育児休業を経て、仕事に対する意識の変化はありましたか?

私の帰りを心待ちにしている家族がいる。それだけで仕事に対する情熱が大きくなった気がします。限られた時間内で効率的に業務が行えるよう、業務の優先順位の設定やスケジュール管理をより意識するようになりました。

また、子育てを通じて忍耐力が鍛えられ、未経験の業務を行う際も、粘り強く最後まで取り組むことができています。

# 採用案内

## 様々な受験区分・受験資格への対応

近年、サイバー分野、デジタル分野における警察庁の果たすべき役割がますます大きくなり、サイバー空間をめぐる脅威への対処、情報システムの活用による警察活動の合理化・高度化をより一層推進するため、2025 年度より新たな採用区分を新設しました。

国家公務員試験合格者を対象としたデジタル採用（本庁採用）、情報処理技術者試験合格者を対象としたサイバー採用（本庁採用）及び情報処理技術者採用（地方機関採用）の新設により、今まで以上に自分にあった働き方やキャリアを描くことができます。

警察庁技術職員の受験区分・受験資格は以下のとおりです。

国家公務員一般職試験合格者からの採用について、詳しくは P32 をご覧ください。

### 競争試験（国家公務員一般職試験）

| 受験資格 | 人事院主催 | | 受験区分 |
|---|---|---|---|
| 大学、大学院<br>高専、短大生 | 一般職試験（大卒程度）<br>技術系全区分、行政、教養区分 | 本庁デジタル部門 官庁訪問 | New 本庁採用（デジタル採用） |
| | | 地方機関 官庁訪問 | 地方機関採用 |
| 高校生、<br>高校卒業者 | 一般職試験（高卒者）<br>技術区分 | 地方機関 採用面接 | 地方機関採用 |

### 選考試験

（公務員試験の受験は不要です。）

| 受験資格 | 警察庁主催 | 受験区分 |
|---|---|---|
| 無線資格保有者<br>（第一級陸上無線技術士） | 地方機関における選考<br>（論文・適性検査・面接） | 地方機関採用<br>（無線従事者採用） |
| 情報処理技術者<br>試験合格者<br>（応用情報技術者試験以上） | 本庁サイバー部門における選考<br>（筆記・論文・適性検査・面接） | New 本庁採用<br>（サイバー採用） |
| | 地方機関における選考<br>（論文・適性検査・面接） | New 地方機関採用<br>（情報処理技術者採用） |

## 地方機関採用

都道府県単位で設置された都道府県情報通信部において、警察独自の 110 番受理システムや警察の無線システム等の情報通信システムの構築、犯罪捜査におけるデジタル・フォレンジック（データ解析）やサイバー攻撃対策などの幅広い業務を担い、第一線の警察活動を情報通信技術を中心とした技術力で支える役割を担っています。

警察通信の分野やサイバー分野はもとより、次ページで説明する警察庁本庁のデジタル分野やサイバー分野のみならず、都道府県警察、他省庁、研究機関、民間企業等に出向するなど、情報通信関係の幅広いフィールドで活躍することが可能です。

なお、情報処理技術者採用で入庁した職員は、採用直後は、サイバー事案への技術的な対処等を所掌する都道府県情報通信部の情報技術解析課に配置されます。将来的にはサイバー分野のほか、デジタル分野や情報ネットワークシステムの運用といった業務に従事するなどして、情報処理技術に係る専門人材としてのキャリアアップを図ります。

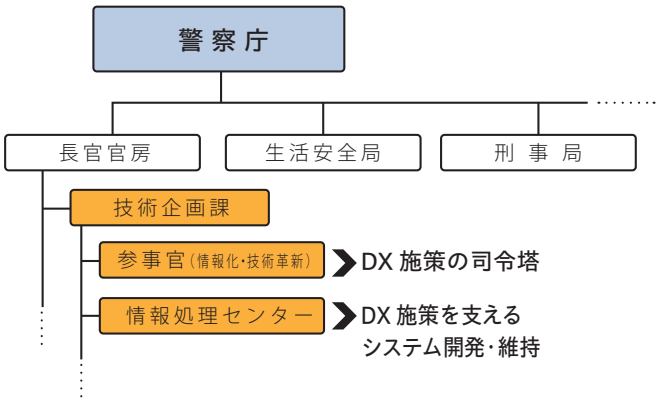
# 本庁採用（デジタル採用）

技術革新や少子高齢化等の進展が社会に大きな変革をもたらす中、警察活動の高度化・合理化を図るため、情報システムの整備や所管する行政手続のオンライン化を推進しています。

デジタル化施策の推進に当たり、警察庁には参事官（情報化･技術革新）、情報処理センターが設置されており、参事官（情報化･技術革新）はＤＸ施策の司令塔としてプロジェクト全体の企画や管理に、情報処理センターは個別システムの開発や運用に取り組んでいます。

## 主な業務内容

- 情報システム整備に関する企画立案
  - ・最新技術情報の収集、活用の在り方の検討
  - ・警察全体の情報システムの整備に関する方針の検討
- 情報システムの整備
  - ・業務の実態把握､見直しの検討に関する支援､機能の検討
  - ・開発（職員による内製（プログラミング）、委託）
  - ・プロジェクト管理
- 情報システムの維持管理
  - ・情報システムの運用状況の監視
  - ・情報セキュリティの確保、インシデント対応




## キャリアパス

警察庁長官官房技術企画課内、参事官（情報化･技術革新）及び情報処理センター（いずれも東京都内）に配置となり､警察業務のDXに関する業務に専門的に従事します。

また、本人の希望や適性に応じて、警察庁内の業務主管部門、都道府県警察の情報管理部門、警察大学校、他省庁等での勤務の機会もあります。

## 受験資格

- 国家公務員採用一般職試験（大卒程度）
  技術系全区分
  全地域の行政及び教養区分

# 本庁採用（サイバー採用）

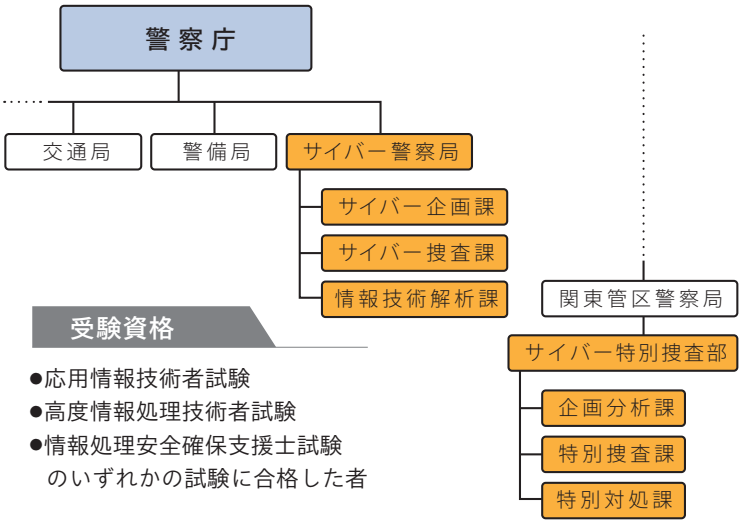
サイバー空間は誰もが利用する身近な環境である一方、例えばフィッシングメールによる情報窃取、匿名性を悪用した詐欺や誹謗中傷、ランサムウェアによる金銭要求といった犯罪行為も横行しています。

このようなサイバー空間上の脅威に対処するため、警察庁にはサイバー警察局が設置されており、各都道府県警察等への指導、政策の企画立案等を行う司令塔の役割を果たしています。

また、関東管区警察局には国の捜査機関であるサイバー特別捜査部があり、重大なサイバー事案への対処に取り組んでいます。

## 主な業務内容

- サイバー犯罪に悪用された電子機器等に記録された電磁的記録の解析
- サイバー攻撃の予兆・実態把握
- 不正プログラムの解析・分析
- 都道府県警察の犯罪捜査等への技術的な支援




## キャリアパス

主に警察庁サイバー警察局及び関東管区警察局サイバー特別捜査部(いずれも東京都内)に配置となり､サイバー警察における各種の技術的業務に専門的に従事します。

また、本人の希望・適性等に応じて、都道府県警察、警察大学校、他省庁等での勤務の可能性もあります。

## 受験資格

- 応用情報技術者試験
- 高度情報処理技術者試験
- 情報処理安全確保支援士試験

のいずれかの試験に合格した者

# 採用案内

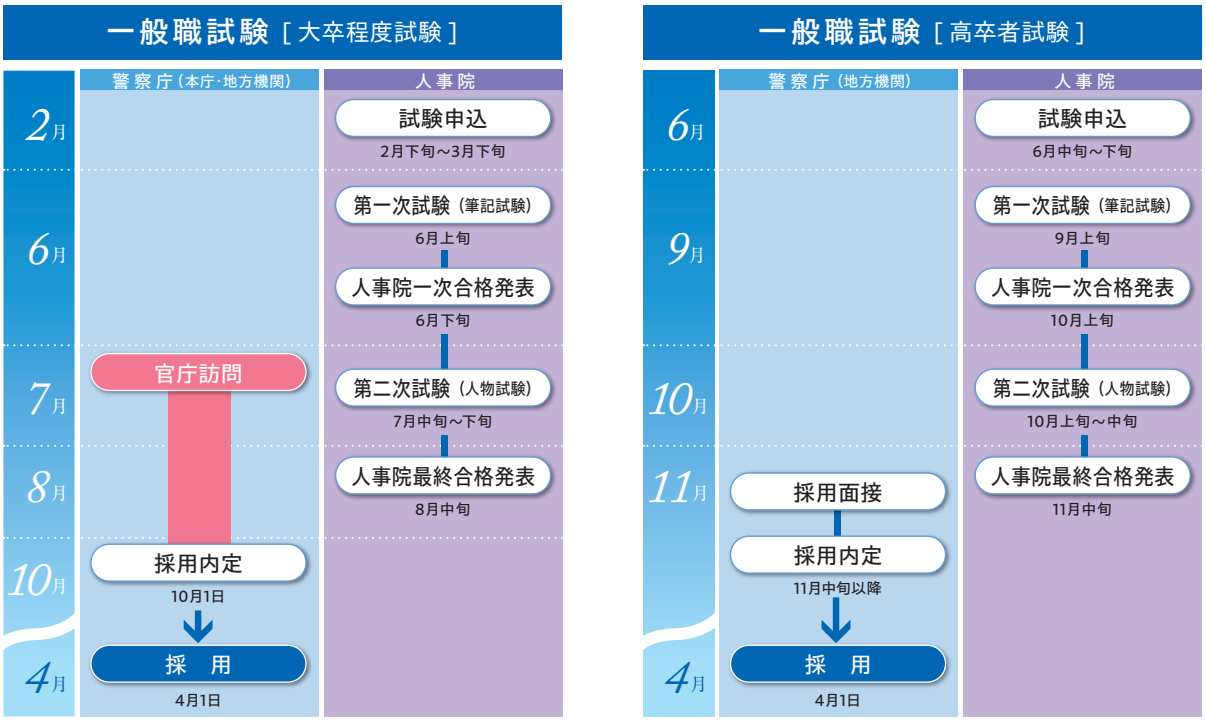
## 警察庁技術職員への道のり

### 競争試験（国家公務員一般職試験）合格者からの採用【本庁・地方機関】（本庁：デジタル採用）

人事院が実施する国家公務員採用一般職試験に合格し、警察庁の各機関（本庁･地方機関）が実施する官庁訪問（採用面接）の合格を経て、採用されるものです。

なお、一般職試験（大卒程度試験）については、短期大学又は高等専門学校卒業者（卒業見込みを含む。）や、大学院修了者（修了見込みを含む。）など幅広い方が受験可能で、特に教養区分については、大学三年生からの受験も可能です。

一般職試験（大卒程度試験）は、一度合格すると５年間（教養区分は６年間）有効です。




- 上記は令和7年度の例です。
  実施年度により、スケジュールが異なる可能性がありますので、実施詳細については、人事院のホームページをご覧ください。
- 官庁訪問（採用面接）時期は、各地方機関のホームページをご覧ください。

#### 官庁訪問（採用面接）とは？

受験者が志望官庁を訪問し、業務説明や面接を受けるもので、志望府省庁に採用されるために不可欠なステップです。官庁訪問（採用面接）の前に、業務説明会や職員訪問への参加を通じ、警察庁技術職員の業務内容をしっかりと理解しておくことをおすすめします。

### 選考採用（情報処理技術者採用）【本庁･地方機関】（本庁：サイバー採用、地方機関：情報処理技術者採用）

- 応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士及び高度情報処理技術者試験合格者を対象とした選考を実施しています。
- 日程等の詳細については、警察庁及び各地方機関のホームページをご覧ください。

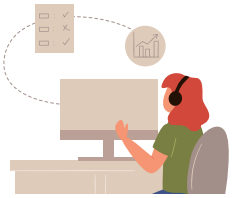
### 選考採用（無線従事者採用）【地方機関】

- 第一級陸上無線技術士の資格保有者を対象とした選考試験を実施しています。
- 日程等の詳細については、各地方機関のホームページをご覧ください。

### 中途採用（選考採用・係長級）【地方機関】

- 民間企業等での一定の職務経験がある方を対象としており、国家公務員一般職試験（大卒程度試験、高卒者試験）合格者相当の地方機関係長級として採用します。
- 日程等の詳細については、警察庁ホームページをご覧ください。

## 求める人物像



機械・パソコンが好きな人



向上心がある人



柔軟な発想力を持つ人



チームワークを大切にする人

## 給与・勤務時間など

（令和７年10月時点）

| | |
|---|---|
| 基本給（俸給）※1 | ＜大卒程度試験採用＞　約220,000 円　＜高卒者試験採用＞　約188,000 円<br>＜選考採用（サイバー採用、情報処理技術者採用、無線従事者採用）＞　約220,000 円 |
| 諸手当 | 地域手当、扶養手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当など |
| 昇給 | 原則年1回 |
| 賞与（ボーナス） | 期末手当、勤勉手当として、1年間に俸給の月額等の約4.6カ月分（6月、12月に支給） |
| 勤務時間 | 7時間45分 |
| 休暇等 | 年次休暇20日※2<br>20日まで翌年に繰越し可能（最大40日まで）<br>その他、病気休暇、特別休暇（夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等）、介護休暇等 |
| 休日 | 土・日、祝日等、年末年始（12月29日～1月3日） |

※１ 大卒後（高等専門学校又は短期大学卒業を含む。）又は高卒後に職務経歴なしで採用された場合の目安であり、
院卒者や職務経験者の場合は、その経歴を踏まえた給与が設定されます。
※２ 初年度は15日

## 近年の採用実績

| 採用年度 | 国家公務員採用一般職試験 | | | | | | | | | | 選考採用 | | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 大卒程度 | | | | | | | | | 高卒者 | 無線資格（一陸技） | 経験者採用（係長級） | |
| | デジタル・電気・電子（※） | 機械 | 土木 | 建築 | 物理 | 化学 | 農学 | 農業農村工学 | 林学 | | | | |
| 2021 年度 | 11 | 5 | 2 | 0 | 4 | 16 | 11 | 2 | 0 | 18 | 34 | 2 | 105 |
| 2022 年度 | 21 | 1 | 2 | 1 | 4 | 15 | 14 | 0 | 1 | 7 | 37 | 0 | 103 |
| 2023 年度 | 11 | 5 | 4 | 0 | 4 | 8 | 9 | 0 | 0 | 7 | 37 | 0 | 85 |
| 2024 年度 | 13 | 4 | 2 | 0 | 6 | 10 | 9 | 0 | 2 | 17 | 32 | 0 | 95 |
| 2025 年度 | 14 | 3 | 1 | 0 | 4 | 4 | 7 | 0 | 0 | 19 | 44 | 6 | 102 |

※「デジタル・電気・電子」区分は、2022年度試験以前は「電気・電子・情報」区分です。
なお、管区警察局別の採用状況は、各管区警察局のホームページ等をご覧ください。

2026 年度採用から、国家公務員一般職試験（行政区分・教養区分）、選考採用（情報処理技術者採用）からの採用を開始しました！
学生時代の専攻にとらわれず技術力で社会の安全・安心に貢献したいという熱意ある方を募集しています。
受験区分が配属先や将来的なキャリアパスに影響を与えることはありません。

## 採用広報動画

警察庁技術職員（一般職）の業務内容や研修制度等の魅力を一つの動画にまとめました。



約 13 分

警察庁技術職員（総合職・一般職）の日々の業務・組織での役割について若手職員の声をまとめました。




約３分

# 採用 Q&A

## Q1 採用は管区警察局のみで行われるのですか?

A　警察庁本庁（内部部局）、各管区警察局、北海道警察情報通信部、東京都警察情報通信部及び四国警察支局において採用しています。

なお、関東管区警察局と東京都警察情報通信部は、いずれも首都圏において警察の情報通信部門として活動するという点で親和性があることから、合同で職員の採用を行っており、経験の幅を広げキャリアアップを図るため、人事交流も行っています。

## Q2 本庁採用と地方採用の違いは何ですか?

A　本庁採用は、採用部門ごとに、デジタルやサイバーといった分野を専門として主に警察庁（サイバー採用については、サイバー特別捜査部を含む。）に長期配置してキャリアを歩むことになります。

地方採用は、採用された地方を中心に勤務し、情報通信等の技術を軸とする幅広い業務を担当します。本人の適性や希望に応じて都道府県警察や警察庁に出向し、デジタルやサイバー分野はもちろん、生活安全、刑事、交通、警備といった他部門で勤務する機会や、他省庁で勤務する機会もあり、様々なフィールドで活躍するチャンスがあります。

## Q3 本庁採用と地方機関採用の併願は可能ですか?

A　併願可能です。

また、複数の地方機関を併願することも可能です。（国家公務員一般職試験（技術系区分）、選考採用のみ）

## Q4 総合職と一般職の業務の違いは何ですか?

A　総合職は技術的な知見を活かしつつ、主に政策の企画・立案に携わります。一方、一般職は第一線警察活動における情報通信システムの整備・運用、サイバー事案捜査の技術支援等、専門的な知識や技能を実際に活用する業務に従事することになります。

## Q5 大卒・高卒で業務内容に違いはありますか?

A　学歴等による業務内容の違いはありません。入庁後は試験区分に関わらず、同一の初任研修や配属先での実務研修を経た上で、本人の適性等に応じたキャリアを積むことになります。

## Q6 採用までに取得しなければならない資格はありますか?

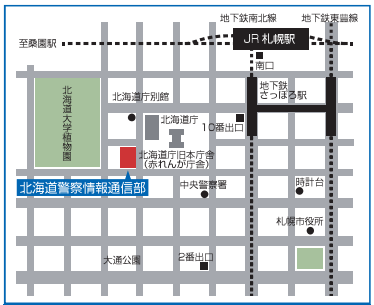
A　採用までに取得必須の資格はありません。

## Q7 異動について個人の希望は反映されますか?異動の周期はどれくらいですか?

A　異動に関する希望調査を毎年実施しています。配置先は適性や能力、家庭状況等を総合的に踏まえた上で決定されます。また、異動の周期は概ね3～5年周期となります。

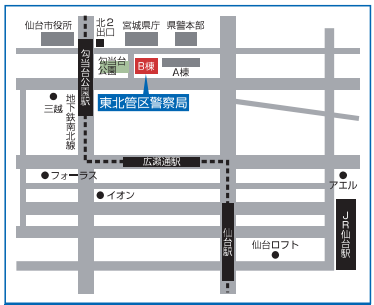
本パンフレットの掲載者の所属・職名は、令和7年10月1日現在のものです。

# 採用窓口



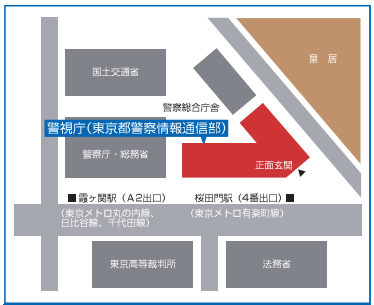

**北海道警察情報通信部 通信庶務課**

〒060-8520
北海道札幌市中央区北２条西７丁目
TEL：011-251-0110（内線6032）



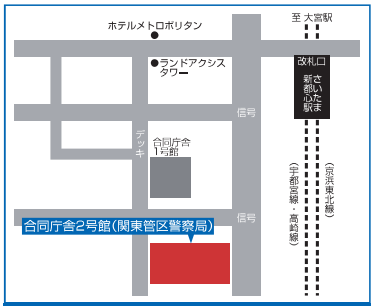

**東北管区警察局 情報通信部 通信庶務課**

〒980-8408
宮城県仙台市青葉区本町三丁目３番１号
TEL：022-221-7181（内線6032）



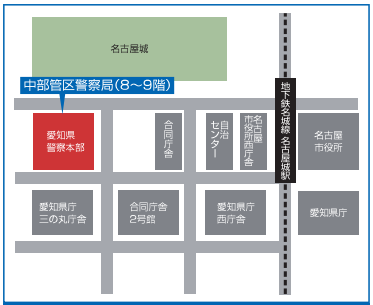

**東京都警察情報通信部 通信庶務課**

〒100-8929
東京都千代田区霞が関二丁目１番１号
TEL：03-3581-4321（内線60311）



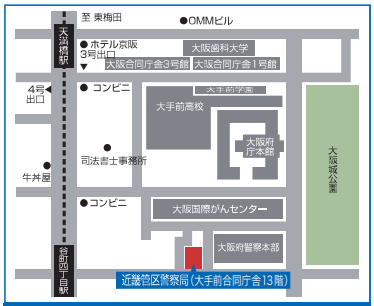

**関東管区警察局 情報通信部 通信庶務課**

〒330-9726
埼玉県さいたま市中央区新都心２番地
TEL：048-600-6000（内線6032）
採用ダイヤル：048-840-3140




**中部管区警察局 情報通信部 通信庶務課**

〒460-0001
愛知県名古屋市中区三の丸二丁目１番１号
TEL：052-951-6000（内線6032）



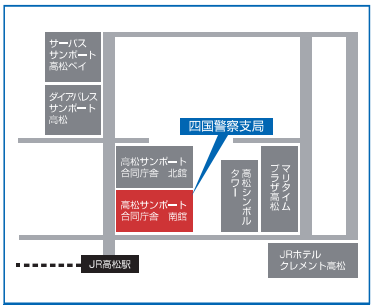

**近畿管区警察局 情報通信部 通信庶務課**

〒540-0008
大阪府大阪市中央区大手前三丁目1番41号
TEL：06-6944-1234（内線6032）



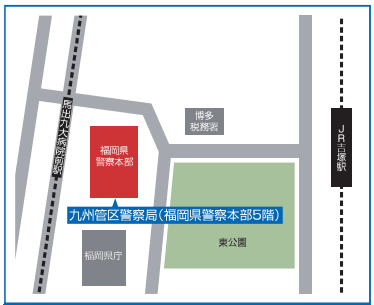

**中国四国管区警察局 情報通信部 通信庶務課**

〒730-0012
広島県広島市中区上八丁堀６番30号
TEL：082-228-6411（内線6032）




**四国警察支局 情報通信部 通信庶務・施設課**

〒760-0019
香川県高松市サンポート３番33号
TEL：087-821-3111（内線6032）




**九州管区警察局 情報通信部 通信庶務課**

〒812-8573
福岡県福岡市博多区東公園７番７号
TEL：092-622-5000（内線6032）




## 警察庁

〒100-8974 東京都千代田区霞が関二丁目1番2号
TEL:03-3581-0141( 代表 )

**デジタル採用**
長官官房技術企画課
内線：2646

**サイバー採用**
サイバー警察局サイバー企画課
内線：3557

# 警察庁
National Police Agency

## 業務説明会・職員訪問のご案内

警察庁及び各地方機関において、業務説明会・職員訪問を随時実施しています。

職場の雰囲気や実際に勤務する職員からの生の声を聞くこともできますので、是非お気軽にご参加ください。

採用イベントは警察庁ホームページや各地方機関のホームページをご確認ください。

マイページにご登録いただくと、採用イベントの予約がワンクリックで完了します。

説明会エントリーはこちらから！！
マイページ登録

## 採用に関するお問い合わせ

警察庁長官官房人事課　採用担当

〒100－8974　東京都千代田区霞が関二丁目１番２号
TEL：03－3581－0141（代表）／内線 2698
E-mail：ippansyoku-saiyo@npa.go.jp

## 警察庁採用情報サイト

警察庁HP

X@NPA_infocom

警察庁技術職員採用広報動画
（警察庁公式YouTubeチャンネル）